

特別シンポジウム 1 オープニングセッション

百寿社会を迎えた我が国における次世代型終身医療および 緩和医療を多角的視点から考える

6月1日(土) 9:00-11:30 第1会場-1 (国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：成田 年 (星薬科大学 薬理学研究室)

武田 弘志 (国際医療福祉大学 薬学部 薬理学分野)

上園 保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、国立がん研究センター
中央病院 支持療法開発センター)

特 1-1 百寿社会の「幸福寿命」延伸を支える次世代型終身医療展望

伊藤 裕 (慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科)

特 1-2 エピジェネティック異常の特徴とがん治療・緩和医療における重要性

牛島 俊和 (国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野)

特 1-3 次世代型粘膜ワクチンによる感染症予防・治療戦略

清野 宏 (カリフォルニア大学サンディエゴ校 医学部 内科学講座 消化器内科分野、東京
大学医科学研究所 東京大学特任教授部門 粘膜免疫学部門、千葉大学大学院 医
学薬学府 国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究センター)

特 1-4 百寿社会におけるがん支持療法・緩和治療領域の確立とその未来像

上園 保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、
国立がん研究センター中央病院 支持療法開発センター)

特 1-5 腫瘍免疫システムの解明と未来のがん治療法

青木 一教 (国立がん研究センター研究所、星薬科大学)

特別シンポジウム2 ホットトピックスセッション

第1部 座談会

緩和薬物療法におけるオピオイド新薬を有効に使うために

6月2日(日) 9:00-10:10 第1会場(国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：成田 年(星薬科大学 薬理学研究室)
天谷 文昌(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学教室)

特2(第1部)-1 オピオイド鎮痛薬をどう選ぶか～増えてきた選択肢～
余宮 きのみ(埼玉県立がんセンター)

特2(第1部)-2 がんの痛みを取り除く重要性について
服部 政治(医療法人沖繩徳洲会 中部徳洲会病院)

第2部 講演

がん治療における最先端研究とがん支持療法を視野に入れた統合的先制医療を考える

6月2日(日) 10:10-11:45 第1会場(国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：千堂 年昭(岡山大学病院 薬剤部)
徳山 尚吾(神戸学院大学薬学部 臨床薬学研究室)

特2(第2部)-1 iPS細胞技術によるがん細胞の理解と制御
山田 泰広(東京大学 医科学研究所 システム疾患モデル研究センター)

特2(第2部)-2 がん幹細胞を標的とした新たながん治療戦略
佐谷 秀行(慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門)

特2(第2部)-3 リキッドバイオプシーのもたらす先制医療の未来と展望
落谷 孝広(東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門)

特別シンポジウム3 テイクホームメッセージセッション

がんおよび非がん病態における最新治療と包括的支持療法を考える

6月2日(日) 13:10-15:10 第1会場(国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：葛巻 直子(星薬科大学 薬理学研究室)
井関 雅子(順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

特3-1 最新のがん研究と薬学の融合
間野 博行(国立がん研究センター)

特3-2 幹細胞と遺伝子改変霊長類技術を用いた精神・神経疾患の病態解明
岡野 栄之(慶應義塾大学医学部 生理学教室)

特3-3 パーキンソン病のプレシジョンメディスンを目指して：人生100年時代へ
服部 信孝(順天堂大学医学部 神経学講座)

優秀論文賞受賞講演

優秀論文賞受賞講演

6月2日(日) 16:25-17:15 第1会場(国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：徳山 尚吾 (神戸学院大学 薬学部臨床薬学研究室)

中川 貴之 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)

コメンテーター：鈴木 勉 (星薬科大学 薬物依存研究室)

1. 中学生に対するがん教育の実施および生徒の意識変化 ～学校薬剤師のがん教育参画を目指して～

横山 郁子 (神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター)

2. 処方改良 Mohs ペーストの保存安定性評価

田口 真穂 (横浜薬科大学)

シンポジウム

シンポジウム1 薬剤師がつなぐ切れ目のない緩和ケアの提供を目指して

6月1日(土) 10:00-11:30 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

オーガナイザー：笠原 庸子 (県立広島病院)

座長：鉄穴口 麻里子 (安芸地区医師会 居宅介護支援事業所)

松谷 優司 (株式会社ホロン すずらん薬局)

S1-1 もし調剤薬局がオピオイドの使用経験が少ないかかりつけ医や訪問看護師のマネジメントができたなら - 退院支援にまつわる最近の事例から -

岡部 智行 (広島市立広島市民病院 緩和ケア科)

S1-2 「切れ目のない緩和ケアの提供」に向けた連携の在り方を考える - 病院薬剤師の立場から -

笠原 庸子 (県立広島病院)

S1-3 地域連携ですすめる在宅医療 - 在宅療養支援診療所薬剤師の視点から -

大須賀 悠子 (医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック)

シンポジウム2 実務実習における緩和ケア教育を考える～臨床に活かすために～

6月1日(土) 10:00-11:30 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

オーガナイザー：八本 久仁子 (独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター)

座長：八本 久仁子 (独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター)

中島 美紀 (キムラ薬局)

S2-1 実務実習事前実習「患者心理」におけるコミュニケーション能力の養成について～「医療用麻薬を拒否する患者対応」のロールプレイを通して患者に寄り添う態度を考える～

増田 多加子 (東京薬科大学 薬学部)

S2-2 実務実習の標準化を目指して～中国四国地区国立病院薬剤師会緩和ケア研究会の挑戦～

小野 友香 (国立病院機構 岡山医療センター)

S2-3 緩和ケア実務実習での教育成果について考える

輿石 徹 (東京医科大学 八王子医療センター 薬剤部)

シンポジウム3 痛みと睡眠

6月1日(土) 12:45-14:20 第1会場-1 (国際会議場2階 コンベンションホール)

オーガナイザー：葛巻 直子 (星薬科大学 薬理学研究室、星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR))

座 長：山崎 光章 (富山大学大学院 医学薬学研究部 麻酔科学講座)
山中 章弘 (名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 II)

S3-1 睡眠の確保から始める痛み治療

～ 臨床医が日常診療で意識していることはコレだ! ～

竹村 佳記 (富山大学大学院 医学薬学研究部 麻酔科学講座)

S3-2 睡眠覚醒調節神経と痛みの制御

山中 章弘 (名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 II)

S3-3 痛みと睡眠障害の脳科学：痛みによる脳機能変容を理解する

山下 哲 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 統合分子生理学、星薬科大学 薬理学研究室)

S3-4 世界初の OX2R 作動薬 YNT-185 の創出とその薬理作用

長瀬 博 (筑波大学 国際睡眠医科学研究機構)

シンポジウム4 痛みと痒みの理解

6月1日(土) 13:00-15:00 第1会場-2 (国際会議場2階 コンベンションホール)

オーガナイザー：津田 誠 (九州大学大学院 薬学研究院 ライフイノベーション分野)

河野 達郎 (東北医科薬科大学 麻酔科学)

座 長：津田 誠 (九州大学大学院 薬学研究院 ライフイノベーション分野)

河野 達郎 (東北医科薬科大学 麻酔科学)

S4-1 内因性鎮痛と慢性痛

小幡 英章 (福島県立医科大学附属病院 痛み緩和医療センター)

S4-2 痛みの構造と変化

金井 昭文 (北里大学医学部 新世紀医療開発センター・疼痛学)

S4-3 脊髄における痒み応答ニューロンの役割

木口 倫一 (和歌山県立医科大学医学部 薬理学講座)

S4-4 痒みのメカニズムと新規治療

石氏 陽三 (東京慈恵会医科大学 皮膚科)

シンポジウム5 緩和医療と集中治療における鎮静とせん妄治療～ PCTとICUでの実臨床～

6月1日(土) 13:00-15:00 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

オーガナイザー：龍 恵美 (長崎大学病院 薬剤部)
川名 真理子 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部)
座長：龍 恵美 (長崎大学病院 薬剤部)
川名 真理子 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部)

S5-1 緩和医療における鎮静薬の使用の実際

関根 龍一 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科)

S5-2 救急・集中治療における鎮静薬の使用の実際

富安 志郎 (佐世保市総合医療センター 緩和ケア科)

S5-3 鎮静薬とせん妄治療薬の作用機序：緩和医療での適正使用に向けて

野田 幸裕 (名城大学薬学部 病態解析学 I、名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)

S5-4 鎮静とせん妄に使用する薬剤について

川名 真理子 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部)

シンポジウム6 がん治療・緩和薬物療法における基礎・臨床研究から適正な薬物療法への貢献を考える

6月1日(土) 13:00-14:30 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

オーガナイザー：板井 進悟 (金沢大学附属病院 薬剤部 / 町立富来病院 薬剤部)
座長：板井 進悟 (金沢大学附属病院 薬剤部 / 町立富来病院 薬剤部)
矢野 琢也 (住友別子病院)

S6-1 分子標的薬の自然耐性に着目した基礎研究と臨床応用への試み

谷本 梓 (金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍内科、金沢大学附属病院 がんセンター)

S6-2 制吐療法の個別化を指向したファーマコゲノミクス研究

辻 大樹 (静岡県立大学薬学部 臨床薬効解析学分野)

S6-3 臨床現場の薬剤師と薬学生・薬学研究室のつながりを考える～臨床と基礎が連携した臨床研究の実際～

高林 真貴子 (金沢大学附属病院)

シンポジウム7 緩和薬物療法認定薬剤師・全員集合！ ～原点回帰・緩和薬物療法認定薬剤師の使命とは～

6月1日(土) 13:00-14:30 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

オーガナイザー：金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター）
伊東 俊雅（東京女子医科大学 東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室）
座長：金子 健（慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター）
伊東 俊雅（東京女子医科大学 東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室）

S7-1 余命1ヶ月の患者さん—在宅ケアにおける緩和薬物療法認定薬剤師の果たすべき役割とは—
大野（川井） 朋子（ラクスリ株式会社 ハートフェルト薬局、一般社団法人 医薬品適正使用・乱用防止推進会議）

S7-2 中小病院の薬剤師が直面する認定の壁と活動の壁～落ちこぼれ薬剤師の孤軍奮闘記～
尹 美帆（独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター）

S7-3 熊本県における緩和薬物療法普及活動について
尾関 あゆみ（国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部）

S7-4 大阪基幹病院薬剤師による薬-薬連携推進の取り組み～研究会活動を通して得られるネットワーク～
川口 明範（近畿大学病院 薬剤部）

S7-5 緩和薬物療法認定薬剤師ネットワークの構築とその将来展望
伊東 俊雅（東京女子医科大学東医療センター薬剤部・がん包括診療部緩和ケア室）

シンポジウム8 腎機能低下時の緩和薬物療法の実際～情報リテラシーを高め、いのちの輝きを支えるために～パートII

6月1日(土) 13:00-14:30 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

オーガナイザー：竹迫 秀和（鹿児島市立病院 薬剤部）
座長：竹迫 秀和（鹿児島市立病院 薬剤部）
宮部 貴識（国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部）

S8-1 医薬品添付文書から読み解く薬物動態情報～サルコペニア・フレイルに対する投与設計への応用～
山本 武人（東京大学薬学部 医療薬学教育センター）

S8-2 腎機能が低下した高齢者でも、栄養の工夫でサルコペニア、フレイルティ、認知症と戦う
吉田 貞夫（ちゅうざん病院）

S8-3 終末期がん患者の筋肉量と腎機能評価-薬物、栄養療法の処方支援-
上葛 義浩（藤田医科大学 七栗記念病院 医療技術部薬剤課、藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座）

シンポジウム9 緩和医療薬学の未来を語ろう

6月1日(土) 14:30-16:30 第1会場-1 (国際会議場2階 コンベンションホール)

オーガナイザー：的場 元弘 (青森県立中央病院)
塩川 満 (聖隷横浜病院)
座長：的場 元弘 (青森県立中央病院)
塩川 満 (聖隷横浜病院)

S9-1 クリニカルクエスションに根ざした種々の難治性疼痛 (痛みのアンメットメディカルニーズ) を克服するための新規鎮痛薬開発～その up-to-date ～

上園 保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、国立がん研究センター中央病院 支持療法開発センター)

S9-2 臨床現場の疑問を臨床研究で解き明かす

石原 正志 (岐阜大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究推進センター)

S9-3 緩和医療の臨床にて求められる薬剤師とは

龍 恵美 (長崎大学病院 薬剤部)

S9-4 医療用麻薬を患者さんに届けるために～麻薬行政の立場から～

高橋 正 (四国厚生支局 麻薬取締部)

シンポジウム10 非がんの緩和医療

6月1日(土) 15:10-17:10 第1会場-2 (国際会議場2階 コンベンションホール)

オーガナイザー：伊勢 雄也 (日本医科大学付属病院 薬剤部)
伊東 俊雅 (東京女子医科大学東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室)
久原 幸 (株式会社メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部 地域薬局事業部 医療連携セクション)
座長：伊勢 雄也 (日本医科大学付属病院 薬剤部)
伊東 俊雅 (東京女子医科大学東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室)

S10-1 心不全診療におけるマネジメントおよび緩和ケア

諏訪 邦明 (東京女子医科大学 東医療センター、東京女子医科大学病院 循環器内科)

S10-2 呼吸不全、認知症における緩和医療

菅野 康二 (順天堂東京江東高齢者医療センター)

S10-3 筋萎縮性側索硬化症の緩和ケアに薬剤師が関わるために

八本 久仁子 ((独) 国立病院機構 浜田医療センター 薬剤部)

S10-4 非がん非ターミナルの小児の在宅緩和ケアと薬物療法

初田 稔 (ココカラファイン薬局 砧店)

シンポジウム11 最先端のがん治療

6月1日(土) 15:10-16:30 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

オーガナイザー：大澤 匡弘（名古屋市立大学大学院 薬学研究科 神経薬理学分野）
座 長：大澤 匡弘（名古屋市立大学大学院 薬学研究科 神経薬理学分野）
佐藤 洋美（千葉大学大学院 薬学研究院 臨床薬理学研究室）

S11-1 膵臓癌に対する治療の現状

宇和川 匡（東京慈恵会医科大学 外科学講座、東京慈恵会医科大学 腫瘍センター）

S11-2 がん悪液質の病態に基づいた重症度分類の構築研究。抗悪液質療法の有用性の最大化を目指して

光永 修一（国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科、国立がん研究センター 先端医療開発センター バイオマーカー探索 TR 分野）

S11-3 骨肉腫難治例の治療抵抗性分子機構の解明と新規治療法開発にむけた基礎的検討

清水 孝恒（星薬科大学・薬学部・病態生理学研究室、慶應義塾大学医学部・先端医科学研究所・遺伝子制御研究部門）

S11-4 免疫状態の評価系としてのB細胞およびT細胞の抗原受容体可変部の遺伝子レパトローム解析

築地 信（星薬科大学薬学部 微生物学研究室）

シンポジウム12 精神疾患の緩和

6月1日(土) 16:40-17:50 第1会場-1（国際会議場2階 コンベンションホール）

オーガナイザー：藤田 和歌子（長崎大学 生命医科学域フロンティア生命科学分野）
座 長：伊達 久（仙台ペインクリニック）
藤田 和歌子（長崎大学 生命医科学域フロンティア生命科学分野）

S12-1 精神疾患と緩和 - 脳内免疫細胞ミクログリアから心と体の痛みとその緩和を考える

加藤 隆弘（九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学、九州大学病院 精神科神経科）

S12-2 依存症に対する緩和医療薬学

池田 和隆（東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野）

S12-3 鎮痛薬および精神疾患治療薬による脳内報酬系の活動調節と鎮痛効果への関与

渡邊 萌（Department of Pharmacology, the University of Arizona、星薬科大学 薬理学研究室）

シンポジウム13 がん悪液質包囲網の将来展望

6月2日(日) 9:45-11:45 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

オーガナイザー：東口 高志 (藤田医科大学 外科・緩和医療学講座)
川村 和美 (シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社)
座長：東口 高志 (藤田医科大学 外科・緩和医療学講座)
川村 和美 (シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社)

S13-1 がん悪液質による脳機能の推移に関する新たな知見と対応

大澤 匡弘 (名古屋市立大学大学院 薬学研究科 神経薬理学分野)

S13-2 がん悪液質によるサルコペニアと身体機能障害に関する新たな知見と対応

二村 昭彦 (藤田医科大学 七栗記念病院)

S13-3 悪液質の高リスクを有する高齢進行がん患者に対する集学的な介入プログラム開発～集学的プログラムにおける栄養介入の詳細～

稲野 利美 (静岡県立静岡がんセンター)

S13-4 がん悪液質の新しい治療薬と将来の展望

内藤 立暁 (静岡県立静岡がんセンター)

シンポジウム14 オピオイドの適正使用

6月2日(日) 9:45-11:45 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

オーガナイザー：森 友久 (星薬科大学 薬理学研究室)
井手 聡一郎 (東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト)
座長：井手 聡一郎 (東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト)
芝崎 真裕 (星薬科大学 薬理学研究室)

S14-1 慢性疼痛のドーパミン神経系を介する新しい精神薬理的アプローチ

- 対象患者を診療場面の観察でどう見抜き、痛み治療につなげるか？ -

笠原 諭 (東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター、福島県立医科大学 疼痛医学講座、順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

S14-2 米国のオピオイドクライシスを正しく理解する

山口 重樹 (獨協医科大学医学部 麻酔科学講座)

S14-3 オピオイド鎮痛薬で精神依存の問題を起こさないために

鈴木 勉 (星薬科大学 薬物依存研究室)

S14-4 人はなぜ薬物依存症になるのかーケミカルコーピングとオピオイド鎮痛薬

松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

シンポジウム15 中枢神経疾患の統合的理解と革新的治療法の創出を目指して

6月2日(日) 9:45-11:45 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

オーガナイザー：吾郷 由希夫 (大阪大学大学院 薬学研究科 薬剤学分野、大阪大学 国際医工情報センター)

永井 拓 (名古屋大学大学院医学系研究科 医療薬学・医学部附属病院薬剤部)

座長：吾郷 由希夫 (大阪大学大学院 薬学研究科 薬剤学分野、大阪大学 国際医工情報センター)

永井 拓 (名古屋大学大学院医学系研究科 医療薬学・医学部附属病院薬剤部)

S15-1 自閉スペクトラム症に対するタンパク質間相互作用阻害剤の創薬

吾郷 由希夫 (大阪大学大学院 薬学研究科 薬剤学分野、大阪大学 国際医工情報センター)

S15-2 Parkinson 病における疼痛制御～6-OHDA 誘発病変マウスを用いたアプローチ～

田熊 一敬 (大阪大学大学院 歯学研究科 薬理学教室、大阪大学大学院 連合小児発達学研究所)

S15-3 質量分析による in-vivo 代謝プロファイリング ～低分子うつ病マーカーの探索と機序解明～

杉浦 悠毅 (慶應義塾大学医学部 医化学教室)

S15-4 PARK17 由来 iPS 細胞を用いたパーキンソン病の病態解析

岡野 ジェイムス洋尚 (東京慈恵会医科大学)

シンポジウム16 在宅緩和ケアの現在と未来

6月2日(日) 13:15-14:45 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

オーガナイザー：竹内 尚子 (トライアドジャパン株式会社)

稲葉 一郎 (薬局セントラルファーマシー長嶺)

座長：竹内 尚子 (トライアドジャパン株式会社)

稲葉 一郎 (薬局セントラルファーマシー長嶺)

S16-1 在宅緩和ケアにおける薬剤師への期待～在宅医の立場から～

佐々木 淳 (医療法人社団悠翔会)

S16-2 地域でがん性疼痛治療を支えるためのプライマリ緩和ケアの重要性

住谷 昌彦 (東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 / 麻酔科・痛みセンター)

S16-3 在宅緩和ケアを支える薬局の現状と課題～都市部の場合～

前田 桂吾 (株式会社フロンティアファーマシー)

S16-4 在宅緩和ケアを支える薬局の現状と課題～地方の場合～

天方 奉子 (株式会社ハートフェルト 薬局セントラルファーマシー長嶺)

シンポジウム17 医療用麻薬を最大限活用するためのキーマン「麻薬管理者」があらゆるシーンに対応するための秘めたポテンシャルを引き出すために

6月2日(日) 13:15-14:25 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

オーガナイザー：岸本 真(霧島市立医師会医療センター 薬剤部)
座長：岸本 真(霧島市立医師会医療センター 薬剤部)
高田 勝利(成田赤十字病院 薬剤部)

S17-1 医療用麻薬の使用中止要請や回収への対応の実際
～その時、麻薬管理者としてどう考える～

坂上 嘉浩(地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 薬局)

S17-2 麻薬管理者は緩和医療に関わろう！

久岡 清子(医療法人育和会 育和会記念病院薬剤部)

S17-3 平時から考えておくべき災害時の麻薬の管理について～東日本大災害の実例と保険薬局でのれい売チームの構築(一施設では患者を守り切れない事実)～

岩崎 雅弘(公立加美病院)

シンポジウム18 緩和医療薬学における副作用データベースの活用

6月2日(日) 13:15-14:45 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

オーガナイザー：植沢 芳広(明治薬科大学 医療分子解析学研究室)
座長：植沢 芳広(明治薬科大学 医療分子解析学研究室)
中村 光浩(岐阜薬科大学 実践薬学大講座 医薬品情報学研究室)

S18-1 副作用データベースを用いて鎮痛薬の副作用を科学する

永井 純子(明治薬科大学 医療分子解析学研究室)

S18-2 我が国の大規模副作用データベースに基づくオピオイド使用がん患者における呼吸抑制の検討

菅原 英輝(鹿児島大学病院、(一社)日本緩和医療薬学会研究推進委員会)

S18-3 副作用データベースを用いた抗がん剤の有害事象解析

中村 光浩(岐阜薬科大学 実践薬学大講座 医薬品情報学研究室)

シンポジウム19 まだやるべき事がある～がん終末期における血中アンモニア対策～

6月2日(日) 13:15-14:25 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

オーガナイザー：脇田 雅子(ませ調剤薬局 熱田店)
座長：脇田 雅子(ませ調剤薬局 熱田店)
山中 祐治(JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院 薬剤部)

S19-1 薬薬連携を活かした高アンモニア血症への介入症例～シームレスな緩和ケアを目指す取り組み～

伊藤 聡一郎(公立陶生病院)

S19-2 がん終末期患者における高アンモニア血症

児玉 佳之(医療法人社団佳生会 こだま在宅内科緩和ケアクリニック 診療部)

S19-3 がん終末期の栄養管理を考える

丸山 道生(田無病院)

シンポジウム20 がん疼痛と免疫変動

6月2日(日) 15:10-16:40 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

オーガナイザー：今井 哲司（京都大学医学部附属病院 薬剤部）
座 長：今井 哲司（京都大学医学部附属病院 薬剤部）
仙波 恵美子（大阪行岡医療大学医療学部 理学療法学科）

S20-1 痛みががんを生育させる？～知覚神経とがんのクロストーク～
川股 知之（和歌山県立医科大学）

S20-2 知覚神経における免疫反応と疼痛
天谷 文昌（京都府立医科大学 疼痛緩和医療学教室）

S20-3 周術期鎮痛と免疫抑制 - 術後感染・がん再発への影響
長谷川 麻衣子（鹿児島大学医学部 麻酔蘇生学講座）

S20-4 がん免疫における脳 - 末梢連関の解析から見える包括的緩和医療の重要性
濱田 祐輔（星薬科大学 薬理学研究室）

シンポジウム21 他職種のエキスパートに聞く、支持療法の実際～他職種のスキルを取り入れてひと味違う薬学的介入を行うために～

6月2日(日) 14:50-16:20 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

オーガナイザー：佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター）
座 長：坂田 幸雄（市立函館病院 薬局）
佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター）

S21-1 薬物療法の限界；末梢神経障害、倦怠感
坂田 幸雄（市立函館病院 薬局）

S21-2 末梢神経障害、倦怠感に対するリハビリテーション
森山 武（市立函館病院、弘前大学大学院 保健学研究科 総合リハビリテーション科学領域）

S21-3 薬物療法の限界；せん妄・不眠・抑うつ
田中 怜（静岡県立静岡がんセンター、東京理科大学）

S21-4 せん妄・不眠・抑うつに対する心理社会面からのアプローチ
榎場 美穂（静岡県立静岡がんセンター）

専門・認定制度委員会・試験委員会合同企画シンポジウム

認定薬剤師の取得と更新に向けて～症例報告書の書き方と認定試験の概要～

5月31日(金) 17:00-18:00 第1会場-1 (国際会議場2階 コンベンションホール)

オーガナイザー：平山 武司 (北里大学病院 薬剤部、専門・認定制度委員会 副委員長)

座長：加藤 裕久 (昭和大学薬学部、専門・認定制度委員会 委員長)

岡本 禎晃 (市立芦屋病院 薬剤科、試験委員会 委員長)

委 1-1 2018 年度認定審査・更新審査の結果および更新要件の変更について

平山 武司 (北里大学病院 薬剤部、専門・認定制度委員会 副委員長)

委 1-2 症例報告書の書き方

荒井 幸子 (横浜市立大学附属病院 薬剤部、専門・認定制度委員会)

委 1-3 認定試験の概要について

伊東 俊雅 (東京女子医科大学 東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部緩和ケア室、試験委員会)

麻薬教育認定委員会報告

麻薬教育認定薬剤師制度の現状と今後の展望

6月1日(土) 10:40-11:30 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

オーガナイザー：中川 貴之 (京都大学医学部附属病院 薬剤部、麻薬教育認定委員会 委員長)

川村 和美 (シップヘルスケアファーマシー東日本、麻薬教育認定委員会 副委員長)

研究推進委員会報告

ポリファーマシー多施設共同研究および医薬品副作用データベースJADERによるリスク因子解析

6月1日(土) 13:00-14:20 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

オーガナイザー：高瀬 久光（日本医科大学多摩永山病院 薬剤部、研究推進委員会 委員長）
中川 貴之（京都大学医学部附属病院 薬剤部、研究推進委員会 副委員長）
座長：高瀬 久光（日本医科大学多摩永山病院 薬剤部、研究推進委員会 委員長）
中川 貴之（京都大学医学部附属病院 薬剤部、研究推進委員会 副委員長）

委 3-1 緩和医療におけるポリファーマシーに対する薬剤師の介入に関する全国実態調査
内田 まよこ（大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター、研究推進委員会）

委 3-2 緩和医療におけるポリファーマシーに対する薬剤師の介入に関する前向き観察研究
鈴木 真也（国立がんセンター東病院 薬剤部、研究推進委員会）

委 3-3 JADER を用いた医療用麻薬による有害事象報告件数の時代的変遷
菅 幸生（金沢大学 医薬保健研究域薬学系、研究推進委員会）

委 3-4 がん患者のオピオイド関連呼吸抑制に関する国内有害事象自発報告データベース（JADER）を用いた解析
菅原 英輝（鹿児島大学病院、研究推進委員会）

専門・認定制度委員会企画シンポジウム

緩和薬物療法認定薬剤師審査における推奨症例から学ぶ薬学的介入の実際 ～背景、介入方法、エビデンス、症例報告のノウハウ～

6月1日(土) 14:40-16:20 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

オーガナイザー：加藤 裕久（昭和大学薬学部、専門・認定制度委員会 委員長）
佐藤 淳也（静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、専門・認定制度委員会）
座長：土井 真喜（株式会社メディカルシステムネットワーク 地域薬局事業部在宅推進・医療連携セクション、専門・認定制度委員会）

委 4-1 市立札幌病院緩和ケアチームにおける薬剤師の活動内容と介入症例の報告
神山 秀一（市立札幌病院 薬剤部）

委 4-2 緩和薬物療法認定薬剤師における申請症例に対する薬学的介入の実際～支持療法を中心に～
岸川 礼子（長崎大学病院 薬剤部）

委 4-3 疼痛コントロールに難渋するも在宅移行につなげた症例
周治 由香里（東京女子医科大学 東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部緩和ケア室）

委 4-4 認定薬剤師までの薬局薬剤師としての挑戦～在宅ケアにおいて多職種連携した例をもとに～
大野（川井） 朋子（ラクスリ株式会社 ハートフェルト薬局）

ワークショップ

ワークショップ1 「緩和医療における医療安全のためのココロエ」 ～ロールプレイを交えて～

6月1日(土) 15:10-17:30 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

オーガナイザー・講師：片山 志郎(日本医科大学)

オーガナイザー・座長：井手口 直子(帝京平成大学薬学部)

高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院 薬剤部)

講師：金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター)

ファシリテーター：今村 牧夫(倉敷成人病センター 診療支援部)

内田 まよこ(大阪薬科大学薬学部)

菅 幸生(金沢大学 医薬保健研究域薬学系 臨床薬物情報学研究室)

菅原 英輝(鹿児島大学病院)

中川 左理(神戸学院大学薬学部)

中川 隼一(東京慈恵会 医科大学附属第三病院 薬剤部)

矢野 琢也(住友別子病院)

ワークショップ2 研究会(かんわcafé)を通して考える ～病院・地域を繋ぐ真の薬薬連携WS～

6月2日(日) 9:30-11:30 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

オーガナイザー：加賀谷 肇(一般社団法人 医薬品適正使用・乱用防止推進会議)

オーガナイザー・講師：伊東 俊雅(東京女子医科大学 東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室)

金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター)

講師：加藤 あゆみ(日本医科大学付属病院 薬剤部)

岸田 悦子(日本医科大学付属病院 薬剤部)

佐久間 詠理(医療法人社団淳友会 わたクリニック)

周治 由香里(東京女子医科大学 東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室)

前田 桂吾(株式会社フロンティアファーマシー)

結城 奈美(東京都済生会中央病院 薬剤部)

市民公開講座

がん治療の現状と国立がんセンターの次世代型医療に向けた取り組み

6月2日(日) 15:30-16:20 第1会場(国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：吉澤 一巳(東京理科大学薬学部 疾患薬理学研究室)

森 友久(星薬科大学 薬理学研究室)

がん治療の現状と国立がんセンターの次世代型医療に向けた取り組み

間野 博行(国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所 研究所長)

メディカルセミナー

メディカルセミナー 1 緩和医療の現状と薬剤師の役割 ～緩和ケア関連施設間の多職種連携の充実化に向けて～

6月1日(土) 11:50-12:40 第1会場-2 (国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：細川 豊史 (洛和会丸太町病院、京都府立医科大学)

演者：下山 直人 (東京慈恵会医科大学 緩和医療学、東京慈恵会医科大学病院 緩和ケア診療部)

株式会社アインファーマシーズ

メディカルセミナー 2 がん疼痛の薬物療法

6月1日(土) 11:50-12:40 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

座長：平山 武司 (北里大学病院薬剤部 / 北里大学薬学部)

MS2-1 科学的最新知見に基づいたオピオイド鎮痛薬の再分類

演者：葛巻 直子 (星薬科大学 薬理学研究室、星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR))

MS2-2 実臨床における医療用麻薬の使い方(ヒドロモルフォンを含めて)

演者：吉澤 明孝 (要町病院)

第一三共株式会社

メディカルセミナー 3 免疫チェックポイント阻害剤を用いた肺癌治療と制吐療法の進歩

6月1日(土) 11:50-12:40 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

座長：副島 研造 (慶應義塾大学 医学部 臨床研究推進センター)

演者：乾 直輝 (浜松医科大学)

大鵬薬品工業株式会社

メディカルセミナー 4 メサドン使用を提案する時、中止にする時のポイントと注意点

6月1日(土) 11:50-12:40 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

座長：三宅 智 (東京医科歯科大学医学部附属病院 緩和ケア科)

MS4-1 メサドンの導入から中止まで～薬剤師の役割を考える～

演者：笠原 庸子 (県立広島病院 薬剤科)

MS4-2 メサドンの使用を提案するとき、中止する時のポイントと注意点：緩和ケア専門医の視点より

演者：関根 龍一 (亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科)

帝國製薬株式会社/テルモ株式会社

メディカルセミナー 5 がん患者の抗がん剤の副作用を軽減する漢方薬～基礎・臨床研究に基づく適切な処方選択～

6月1日(土) 11:50-12:40 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

座長：齊藤 洋司 (島根大学医学部 麻酔科学)

演者：上園 保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、国立がん研究センター中央病院 支持療法開発センター)

株式会社ツムラ

メディカルセミナー 6 新薬ラッシュの慢性便秘治療薬、使い方と使い分けのコツ

6月1日(土) 11:50-12:40 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：伊東 俊雅 (東京女子医科大学東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部 緩和ケア室)

演者：神山 剛一 (医療法人社団俊和会 寺田病院、日暮里健診プラザ)

持田製薬株式会社

メディカルセミナー 7 今、必要とされている医療安全対策 ～国際基準と日本の医薬品管理の実際～

6月1日(土) 11:50-12:40 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

座長：武田 弘志 (国際医療福祉大学薬学部 薬理学分野)

演者：塩川 満 (聖隷横浜病院)

クオール株式会社

メディカルセミナー 8 タペンタドールの適正使用推進

6月2日(日) 12:00-12:50 第1会場(国際会議場2階 コンベンションホール)

座長：天谷 文昌 (京都府立医科大学麻酔科学教室)

MS8-1 タペンタドールの特長を活かしたがん疼痛治療

演者：大坂 巖 (社会医療法人石川記念会 HITO 病院 緩和ケア内科)

MS8-2 タペンタドールの有効性と安全性:最新のエビデンスから

演者：中川 貴之 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)

ムンディファーマ株式会社

メディカルセミナー 9 患者さんとともに行うがん疼痛緩和～オピオイドの適正使用につなげる服薬指導～

6月2日(日) 12:00-12:50 第2会場(国際会議場2階 国際会議室)

座長：金子 健 (慶應義塾大学病院 薬剤部 緩和ケアセンター)

演者：里見 絵理子 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

久光製薬株式会社 / 協和発酵キリン株式会社

メディカルセミナー 10 がん骨転移痛のメカニズムと治療戦略～オピオイドの選択と副作用対策～

6月2日(日) 12:00-12:50 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

座長：鈴木 勉(星薬科大学 薬物依存研究室)
演者：富安 志郎(佐世保市総合医療センター 緩和ケア科)

塩野義製薬株式会社

メディカルセミナー 11 胃癌に対する集学的治療：最新版

6月2日(日) 12:00-12:50 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

座長：林 昌洋(虎の門病院 薬剤部)
演者：瀬戸 泰之(東京大学大学院 医学系研究科)

日本化薬株式会社

メディカルセミナー 12 骨転移の緩和ケア～3つのポイント

6月2日(日) 12:00-12:50 第5会場(国際会議場3階 302会議室)

座長：佐野 元彦(埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部)
演者：余宮 きのみ(埼玉県立がんセンター)

あゆみ製薬株式会社

メディカルセミナー 13 パーキンソン病診療の今後の展望

6月2日(日) 12:00-12:50 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：井関 雅子(順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)
演者：服部 信孝(順天堂大学医学部 脳神経内科)

株式会社ハートフェルト

メディカルセミナー 14 iPS細胞と遺伝子改変霊長類を用いた神経変性疾患の研究

6月2日(日) 12:00-12:50 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

座長：岡野 ジェイムス洋尚(東京慈恵会医科大学 再生医学研究部)
演者：岡野 栄之(慶應義塾大学医学部 生理学教室)

富士フイルム和光純薬株式会社

デザートセミナー

デザートセミナー 1 精神症状の対応に強い薬剤師になるためのコツ～急性期病院におけるせん妄への傾向と対策～

6月1日(土) 15:10-16:00 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

座長：加賀谷 肇 (一般社団法人 医薬品適正使用・乱用防止推進会議)

演者：上村 恵一 (独立行政法人国立病院機構 北海道医センター)

株式会社メディカルシステムネットワーク

デザートセミナー 2 薬剤師が担う緩和ケア～緩和薬物療法認定薬剤師の重要性を踏まえて～

6月1日(土) 15:10-16:00 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

座長：鈴木 順子 (北里大学 薬学部)

演者：岡本 禎晃 (市立芦屋病院)

日本調剤株式会社

デザートセミナー 3 ザ・ブレイクスルー・訪問診療困難例に対して薬剤師はいかに対応したか

6月2日(日) 14:40-15:30 第3会場(国際会議場2階 201会議室)

座長：村上 雅彦 (岩手県立大船渡病院 緩和医療科)

演者：岩淵 正之 (岩淵内科医院)

クラフト株式会社

デザートセミナー 4 Cross Functional teamによる高質な医療の追究

6月2日(日) 14:40-15:30 第4会場(国際会議場3階 301会議室)

座長：伊勢 雄也 (日本医科大学付属病院 薬剤部)

演者：荒木 和浩 (群馬県立がんセンター、群馬県衛生環境研究所)

エーザイ株式会社

デザートセミナー 5 患者と家族を地域で支える上で必要とされる医療連携～がん緩和医療と小児難病～

6月2日(日) 14:40-15:30 第7会場(国際会議場3階 304会議室)

座長：石川 洋一 (明治薬科大学 小児医薬品評価学研究室)

演者：月山 淑 (和歌山県立医科大学附属病院腫瘍センター緩和ケアセンター)

株式会社ココカラファイン

口頭発表

口頭発表1 チーム医療、緩和医療薬教育

6月1日(土) 10:30-11:30 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：萩田 均司 (有限会社メディフェニックスコーポレーション薬局つばめファーマシー)
長谷川 寛 (日本調剤株式会社在宅医療部)

01-1 緩和ケア支援システムの構築

○中川 左理^{1,2)}, 西本 哲郎³⁾, 石井 良平³⁾, 江頭 佐都美³⁾, 橋野 陽子³⁾, 岡本 禎晃^{2,3)}
神戸学院大学薬学部¹⁾, 市立芦屋病院 薬剤科²⁾, 市立芦屋病院 サポートケアチーム³⁾

01-2 シームレスながん疼痛治療を目指した佐賀県医療施設のオピオイド採用リストの作成、運用と転院時のオピオイド使用に関する意識調査

○宮原 強¹⁾, 小杉 寿文²⁾, 松永 尚¹⁾
佐賀県医療センター好生館 薬剤部¹⁾, 佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科²⁾

01-3 強オピオイド鎮痛薬初導入指導後のがん性疼痛患者に対する在宅への電話確認の有用性

○田幸 稔, 樋口 弓都, 土屋 直彦, 小林 雅人, 矢嶋 明
長野赤十字病院 薬剤部

01-4 緩和ケア薬剤師と病棟薬剤師の連携に関する調査

○南 貴之, 若月 淳一郎, 松本 香織, 花輪 和己, 小林 義文, 山本 誠一
山梨県立中央病院

01-5 がん患者に対する緩和ケアを担う薬剤師育成のための体系的な教育プログラムの構築

○内田 まよこ¹⁾, 山田 真裕²⁾, 葉田 昌生³⁾, 因間 大悟⁴⁾, 有吉 俊二⁴⁾, 青木 和子⁴⁾,
井上 章治⁴⁾, 島添 隆雄^{4,5)}, 満生 清士⁴⁾, 原口 亨⁴⁾
大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター¹⁾, 北九州市立医療センター 薬剤課²⁾,
JCHO 久留米総合病院 統括診療部薬剤科³⁾, 公益社団法人福岡県薬剤師会⁴⁾,
九州大学大学院 薬学研究院臨床育薬学⁵⁾

口頭発表2 基礎研究

6月1日(土) 13:00-14:00 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：塩谷 文章 (国立がん研究センター研究所細胞情報学分野)
古江 秀昌 (兵庫医科大学神経生理部門)

02-1 質量分析計によるヒト肝がん浸潤バイオマーカー探索

○三枝 大輔^{1,2,3)}, 永井 滉士⁴⁾, Baasanjav Uranbileg^{3,5)}, 蔵野 信^{3,5)}, 池田 均^{3,5)}, 矢富 裕^{3,5)},
富岡 佳久⁴⁾, 青木 淳賢^{3,4)}
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構¹⁾, 東北大学大学院・医²⁾, AMED-LEAP³⁾,
東北大学大学院・薬⁴⁾, 東京大学医学部附属病院⁵⁾

02-2 中脳辺縁ドパミン神経系の賦活によるがん増殖への影響

○濱田 祐輔^{1,2)}, 吉田 小莉¹⁾, 成田 道子¹⁾, 藤森 由梨¹⁾, 小林 万里子¹⁾, 山中 章弘³⁾,
葛巻 直子^{1,2)}, 成田 年^{1,2)}
星薬科大学 薬理学研究室¹⁾, 星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)²⁾,
名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 II³⁾

02-3 妊娠中の乳癌に対する化学療法が胎児脳における神経幹細胞の系譜制御に及ぼす影響

○北岡 諭, 鳩貝 壤, 原田 翔平, 貝沼 怜百, 柏田 真友美, 落合 和
星薬科大学 薬動学研究室

02-4 知覚神経の活動亢進を伴ったがん性疼痛の抑制は生存率を延長させる

○眞壁 一志¹⁾, 近藤 貴茂¹⁾, 濱田 祐輔²⁾, 米山 優希¹⁾, 田邊 一貴¹⁾, 櫻井 究¹⁾, 清水 孝恒³⁾,
成田 道子¹⁾, 葛巻 直子^{1,2)}, 山中 章弘⁴⁾, 成田 年^{1,2)}

星薬科大学 薬理学研究室¹⁾, 星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)²⁾,
星薬科大学 病態生理学研究室³⁾, 名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野Ⅱ⁴⁾

02-5 疼痛閾値低下に伴う脳内ドーパミン代謝変動の解析

○杉山 栄二, 杉浦 悠毅
慶應義塾大学

口頭発表3 疼痛管理、鎮痛薬の副作用

6月1日(土) 14:05-15:05 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：今井 哲司 (京都大学医学部附属病院薬剤部)

佐野 元彦 (埼玉医科大学総合医療センター薬剤部)

03-1 ヒドロモルフォン注射剤から経口剤への換算についての検討

○大音 三枝子¹⁾, 薩摩 由香里¹⁾, 平野 達也¹⁾, 溝口 菜摘¹⁾, 梅田 節子²⁾, 新城 拓也^{3,4)},
李 美於³⁾, 池末 裕明¹⁾, 室井 延之¹⁾, 橋田 亨¹⁾

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部¹⁾, 神戸市立医療センター中央市民病院 看護部²⁾,
神戸市立医療センター中央市民病院 緩和ケア内科³⁾, しんじょう医院⁴⁾

03-2 高用量の注射麻薬を必要とする患者のリスク因子

○宮本 朋佳¹⁾, 富士谷 昌典¹⁾, 畑中 重克²⁾, 小泉 祐一¹⁾
生長会府中病院 薬剤部¹⁾, 生長会府中病院 臨床検査室²⁾

03-3 ナルデメジン投与による排便の質の変化に関する検討

○伊藤 武志¹⁾, 梶山 徹²⁾, 石村 愛³⁾, 塚本 泰彦¹⁾, 濱口 良彦¹⁾

関西電力病院 薬剤部¹⁾, 関西電力病院 緩和医療科²⁾, 関西電力病院 看護部³⁾

03-4 がん患者におけるオピオイド誘発性便秘症に対するナルデメジンとルビプロストンの有効性および安全性に関する比較検討

○脇下 大樹^{1,3)}, 金剛 圭佑^{1,3)}, 刈谷 美里¹⁾, 古川 美緒¹⁾, 小寺 克典¹⁾, 大林 加代子^{2,3)},
橋本 泰明¹⁾

神戸低侵襲がん医療センター 薬剤部¹⁾, 神戸低侵襲がん医療センター 緩和ケア内科²⁾,
神戸低侵襲がん医療センター 緩和ケアチーム³⁾

03-5 オピオイドによる便秘、嘔気嘔吐に対するナルデメジンの効果

○林 隼輔¹⁾, 須田 奈美¹⁾, 川久保 孝¹⁾, 下山 直人²⁾

東京慈恵会医科大学附属病院¹⁾, 東京慈恵会医科大学附属病院 緩和ケア診療部²⁾

口頭発表4 がんに関連する症状緩和、その他

6月1日(土) 15:10-16:10 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：武井 大輔 (埼玉県立がんセンター薬剤部)
岸田 悦子 (日本医科大学付属病院薬剤部)

04-1 薬剤師による含嗽薬及び保湿剤の服薬指導ががん患者の口腔粘膜炎に与える影響

○吉田 謙介^{1,2)}, 田中 雄介¹⁾, 鈴木 直人¹⁾, 朴 慶純³⁾, 勝良 剛詞⁴⁾, 高木 律男²⁾, 外山 聡¹⁾
新潟大学医歯学総合病院¹⁾, 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野²⁾,
国立成育医療研究センター 臨床研究センター 生物統計室³⁾,
新潟大学大学院医歯学総合病院 歯科放射線科⁴⁾

04-2 フルニトラゼパム静注による不眠症治療の実態調査

○石塚 友一¹⁾, 山本 圭祐¹⁾, 高岡 雄一¹⁾, 荒川 大輔¹⁾, 松川 陽央¹⁾, 笹野 知海¹⁾, 澤 昇平¹⁾,
袴田 真理子¹⁾, 山田 博英²⁾, 矢部 勝茂¹⁾
総合病院聖隷浜松病院 薬剤部¹⁾, 総合病院聖隷浜松病院 緩和医療科²⁾

04-3 患者を支える医療者が、がん患者家族になったとき ～視点が変わる～

○金野 良則
気仙中央薬局

04-4 スマートフォンアプリを用いたがん患者支援システムの構築と proactive symptom monitoring

○藤堂 真紀¹⁾, 上田 重人²⁾, 高橋 孝郎³⁾, 高橋 美賀¹⁾, 石川 詩帆¹⁾, 真壁 秀樹¹⁾, 佐伯 俊昭²⁾
埼玉医科大学 国際医療センター 薬剤部¹⁾, 埼玉医科大学 国際医療センター 乳腺腫瘍科²⁾,
埼玉医科大学 国際医療センター 支持医療科³⁾

04-5 麻薬使用の実態調査 ～秦野市・伊勢原市・平塚市～

○秋山 幸子^{1,2)}, 姜 元美^{1,2)}, 長田 恵美²⁾, 工藤 美樹²⁾, 岡本 麻菜²⁾, 平田 千賀²⁾,
山口 恵輔¹⁾, 岩城 康子¹⁾, 奥津 輝男²⁾
医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 薬剤科¹⁾, 医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 緩和ケアチーム²⁾

口頭発表5 がん薬物療法の副作用、がん治療の副作用

6月2日(日) 10:30-11:30 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：酒井 寛泰 (星薬科大学 生体分子薬理学研究室)
坂本 岳志 (あけぼの薬局)

05-1 当院の卵巣癌患者におけるがん化学療法に対する制吐療法の現状

○久保村 優¹⁾, 輪湖 哲也^{1,2)}, 田中 弘人^{1,2)}, 井ノ口 岳洋^{1,2)}, 敦賀 剛気¹⁾, 中村 博子¹⁾,
伊勢 雄也¹⁾, 片山 志郎¹⁾
日本医科大学付属病院 薬剤部¹⁾, 日本医科大学付属病院 化学療法科²⁾

05-2 ビンクリスチンによる摂食調節消化管ホルモン遺伝子の発現変化

○鈴木 悠太¹⁾, 竹内 滉人¹⁾, 原田 優衣¹⁾, 里 史明²⁾, 今 理紗子¹⁾, 五十嵐 信智¹⁾, 亀井 淳三¹⁾,
酒井 寛泰¹⁾
星薬科大学 生体分子薬理学¹⁾, 星薬科大学 疾患病態解析学²⁾

05-3 ベバシズマブによる UPC 比増加のリスク因子についての検討

○富士谷 昌典, 宮本 朋佳, 天生 浩子, 沖山 光都子, 北山 明子, 小泉 祐一
社会医療法人生長会 府中病院

05-4 シスプラチン誘発筋萎縮時の mir-29-3p の発現増加と IGF-1 発現低下

○竹内 滉人¹⁾, 内藤 宏秋¹⁾, 浅見 真穂¹⁾, 木寅 聡子¹⁾, 里 史明²⁾, 山田 岳史³⁾, 今 理紗子¹⁾,
五十嵐 信智¹⁾, 亀井 淳三¹⁾, 酒井 寛泰¹⁾

星薬科大学 生体分子薬理学¹⁾, 星薬科大学 疾患病態解析学²⁾, 日本医科大学 消化器外科³⁾

05-5 シスプラチン誘発筋萎縮におけるメカセルミンの効果

○原田 優衣¹⁾, 浅見 真穂¹⁾, 竹内 滉人¹⁾, 鈴木 悠太¹⁾, 内藤 宏秋¹⁾, 木寅 聡子¹⁾, 里 史明²⁾,
今 理紗子¹⁾, 五十嵐 信智¹⁾, 亀井 淳三¹⁾, 酒井 寛泰¹⁾

星薬科大学 生体分子薬理学¹⁾, 星薬科大学 疾患病態解析学²⁾

口頭発表6 疼痛管理、チーム医療、がん薬物療法の副作用、鎮痛薬の副作用

6月2日(日) 13:15-14:15 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：岡本 禎晃 (市立芦屋病院薬剤科)

伊勢 雄也 (日本医科大学付属病院薬剤部)

06-1 より有効な疼痛コントロールを達成するためにオピオイドスイッチを行った 3 症例

○月山 淑

和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケアセンター

06-2 施設での緩和ケア 麻薬の導入から看取りまで

○岡野 聡, 長谷川 寛

日本調剤在宅医療部

06-3 化学療法による末梢神経障害に対して強オピオイドからデュロキセチンと弱オピオイドに変更して良好な経過を辿った 1 例

○玉川 隆生, 濱岡 早枝子, 井関 雅子

順天堂大学医学部 麻酔科学ペインクリニック講座

06-4 オピオイド量の変化に伴うナルデメジントシル酸塩の有用性

○高瀬 久光¹⁾, 淡路 健作¹⁾, 深尾 彰平¹⁾, 田中 里美¹⁾, 秦 皓平²⁾, 国分 秀也²⁾, 菅谷 量俊¹⁾

日本医科大学多摩永山病院¹⁾, 東京薬科大学²⁾

06-5 ナルデメジントシル酸塩の導入により疼痛コントロールが増悪した後縦隔腫瘍の脊椎転移の 1 症例

○畑 将弘¹⁾, 長谷川 啓¹⁾, 千原 里美¹⁾, 上田 宏¹⁾, 牧尾 健史²⁾, 原 聡志²⁾

市立伊丹病院 薬剤科¹⁾, 市立伊丹病院 呼吸器内科²⁾

口頭発表7 チーム医療、緩和医療薬教育

6月2日(日) 14:20-15:20 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：川出 義浩(名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療教育学)
大木 健史(国保直営総合病院君津中央病院医療技術局薬剤科)

07-1 Psychological safety の重要性について、医療チームが機能的であるために ～緩和ケアチームから地域医療連携への試み 専門領域を超えたチームビルディング～

○山村 康比古, 江藤 壮志, 小松 春佳, 村上 瑛莉香
多摩北部医療センター

07-2 メディカルカフェ「ぬくたあカフェ」に患者が求めているもの

○隅田 美紀^{1,3)}, 西尾 守³⁾, 鷺津 潤爾^{2,3)}
中津川市民病院 薬剤部¹⁾, 虹いろ在宅クリニック²⁾, がんサポート東美濃³⁾

07-3 慢性心不全終末期患者において α 型ヒト心房性ナトリウム利尿ポリペプチド製剤の持続点滴を 継続したまま在宅療養へ移行できた1症例

○赤尾 眞
米沢市立病院 薬剤部

07-4 学校薬剤師の薬物乱用防止啓発訪問事業(厚労省)を介した授業への参加

○高橋 浩二郎^{1,2)}, 高山 智司³⁾, 山本 陽一¹⁾, 松浦 昭仁¹⁾, 平川 剛¹⁾
小倉薬剤師会¹⁾, 九州東邦株式会社²⁾, 小学館集英社プロダクション³⁾

07-5 食欲低下によるサルコペニアに対し、摂食嚥下チームおよびNSTの介入により食事摂取量を 改善することができた1症例

○吉政 直美, 田中 和行, 田村 奈美子, 渡辺 美和
広島市立舟入市民病院

口頭発表8 基礎研究、疼痛管理、その他

6月2日(日) 15:25-16:25 第6会場(国際会議場3階 303会議室)

座長：溝口 広一(東北医科薬科大学薬学部機能形態学教室)
斎藤 顕宜(東京理科大学薬学部)

08-1 新規2機能性オピオイド受容体アゴニストAT-121の鎮痛薬としての可能性

○木口 倫一¹⁾, Ding Huiping²⁾, 岸岡 史郎¹⁾, Zaveri Nurulain³⁾, Ko Mei-Chuan³⁾
和歌山県立医科大学医学部 薬理学講座¹⁾,
Department of Physiology and Pharmacology, Wake Forest School of Medicine²⁾,
Astraea Therapeutics³⁾

08-2 腫瘍切除後に持続する情動障害へのシクロオキシゲナーゼ-1の選択的関与

○尾中 勇祐¹⁾, 田中 優衣¹⁾, 新谷 紀人²⁾, 吾郷 由希夫³⁾, 中澤 敬信⁴⁾, 米山 雅紀¹⁾,
山口 太郎¹⁾, 荻田 喜代一¹⁾, 橋本 均^{2,5,6)}
摂南大学 薬・薬理¹⁾, 大阪大学 薬学研究科 神経薬理学²⁾, 大阪大学 薬学研究科 薬剤学³⁾,
大阪大学 歯・薬理学⁴⁾, 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科⁵⁾,
大阪大学大学院 データビリティフロンティアセンター⁶⁾

08-3 担がんマウスに認められる恐怖記憶の変化に対するサイトカインの関与

○池田 弘子¹⁾, 山岸 愛実¹⁾, 米持 奈央美¹⁾, 清水 孝恒²⁾, 武藤 章弘²⁾, 亀井 淳三^{1,3)}
星薬科大学 薬物治療学研究室¹⁾, 星薬科大学 病態生理学研究室²⁾, 星薬科大学 生体分子薬理学研究室³⁾

08-4 メサドンへのオピオイドスイッチングの際に硬膜外神経ブロックを効果的に用いた 2 症例；硬膜外神経ブロックの新たな役割

○竹村 佳記¹⁾, 堀川 英世¹⁾, 梶浦 新也²⁾, 高木 昭佳³⁾, 近岡 伸悟³⁾, 深井 咲衣⁴⁾, 林 直美⁴⁾, 土地 園美⁴⁾, 屋木 佑太³⁾, 林 龍二²⁾, 山崎 光章¹⁾
富山大学医学薬学研究部 麻酔科学講座¹⁾, 富山大学附属病院 臨床腫瘍部²⁾, 富山大学附属病院 薬剤部³⁾, 富山大学附属病院 看護部⁴⁾

08-5 慢性腰痛に対するトリガーポイントへの手技圧迫刺激が脳活動および脳血行動態に及ぼす影響

○児玉 香菜絵¹⁾, 高本 考一¹⁾, 海老名 翔平¹⁾, 岩間 雄大¹⁾, 日比 大亮²⁾, 山崎 光章²⁾, 西条 寿夫¹⁾
富山大学大学院 医学薬学研究部 システム情動科学講座¹⁾, 富山大学大学院 医学薬学研究部 麻酔科学講座²⁾

ポスター発表

6月1日(土)

示説時間: 16:30-18:00

ポスター会場(国際展示場8ホール)

P-1 遷延性術後疼痛に対するヒドロモルフォン投与による先制鎮痛の有用性

○山邊 慶幸¹⁾, 成田 道子¹⁾, 濱田 祐輔²⁾, 勝田 陽介³⁾, 井関 雅子³⁾, 近藤 貴茂¹⁾, 田中 謙一¹⁾,
松藤 未紗¹⁾, 葛巻 直子^{1,2)}, 成田 年^{1,2)}

星薬科大学 薬理学研究室¹⁾, 星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)²⁾,
順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座³⁾

P-2 立体的かつ構造改変が容易な新規合成法の確立およびオピオイド受容体に対する効果の解析 -新規医療用麻薬の開発を目指して-

○田口 あい^{1,2)}, 高森 太郎¹⁾, 田崎 若葉^{2,3)}, 大島 佳織^{2,4)}, 唐木 文霞¹⁾, 宮野 加奈子²⁾,
平山 重人¹⁾, 羽田 紀康³⁾, 吉澤 一巳⁴⁾, 藤井 秀明¹⁾, 上園 保仁^{2,5)}

北里大学薬学部 生命薬化学教室¹⁾, 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野²⁾,
東京理科大学薬学部 生薬・薬用植物学研究室³⁾, 東京理科大学大学院 薬学研究科 疾患薬理学研究室⁴⁾,
国立がん研究センター 先端医療開発センター 支持療法開発分野⁵⁾

P-3 がん性疼痛のオピオイド鎮痛増強薬としての Oxytocin の有用性に関する研究

○高橋 英希^{1,2,4)}, 吉田 有輝^{2,3)}, 水口 貴章¹⁾, 平山 重人¹⁾, 宮野 加奈子²⁾, 樋上 賀一³⁾,
藤井 秀明¹⁾, 上園 保仁^{2,4,5)}

北里大学薬学部 生命薬化学教室¹⁾, 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野²⁾,
東京理科大学大学院 薬学研究科 分子病理・代謝学研究室³⁾,
国立がん研究センター 先端医療開発センター 支持療法開発分野⁴⁾,
国立がん研究センター 中央病院 支持療法開発部門⁵⁾

P-4 ボルテゾミブ誘発末梢神経障害に対する Rho キナーゼ阻害薬ファスジルの効果

○池谷 英一¹⁾, 内田 有哉¹⁾, 清水 昂¹⁾, 加賀谷 肇²⁾, 野澤(石井) 玲子¹⁾

明治薬科大学 臨床神経薬理学研究室¹⁾, 医薬品適正使用・乱用防止推進会議²⁾

P-5 オピオイド受容体活性化における Receptor transporter protein の発現変動

○横手 未仁¹⁾, 植田 弘師¹⁾, ラクシュミ デビ³⁾, 藤田 和歌子²⁾

長崎大学 生命医科学域 創薬薬理学分野¹⁾, 長崎大学 生命医科学域 フロンティア生命科学分野²⁾,
マウントサイナイ医科大学³⁾

P-6 がん治療施行の有無とオピオイド投与量の関係性

○菅原 馨悟, 長崎 裕, 日時 莉紗, 中居 肇

大館市立総合病院

P-7 痛みの共感に関連する脳活動に対するトラマドールの効果: 機能的 MRI 研究

○鈴木 千裕¹⁾, 池田 裕美子²⁾, 館野 周³⁾, 大久保 善朗³⁾, 深山 治久¹⁾, 鈴木 秀典²⁾

東京医科歯科大学 麻酔・生体管理学分野¹⁾, 日本医科大学 薬理学分野²⁾, 日本医科大学 精神医学分野³⁾

P-8 MOPr-DOPr ヘテロ二量体形成における Receptor transporter protein 4 の役割と鎮痛耐性形成への関与

○藤田 和歌子¹⁾, 横手 未仁³⁾, 植田 弘師³⁾, ラクシュミ デビ²⁾

長崎大学 生命医科学域 フロンティア生命科学分野¹⁾, マウントサイナイ医科大学²⁾,
長崎大学 生命医科学域 創薬薬理学分野³⁾

P-9 オキシトシンのがん増殖およびがん性疼痛への影響

○小島 彩絢¹⁾, 河田 美穂^{1,2)}, 濱田 祐輔^{1,3)}, 渡邊 萌^{1,4)}, 成田 道子¹⁾, 板垣 くるみ¹⁾,
清水 孝恒⁵⁾, 武藤 章弘⁵⁾, 山中 章弘⁶⁾, 葛巻 直子^{1,3)}, 成田 年^{1,3)}

星薬科大学 薬理学研究室¹⁾, 藤田医科大学医学部 生理学²⁾,
星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)³⁾,
University of Arizona, Department of Pharmacology⁴⁾, 星薬科大学 病態生理学研究室⁵⁾,
名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 II⁶⁾

P-10 抑肝散構成成分パキマ酸の抗がん作用の検討

○韓 哲舜^{1,2)}, 浅野 克倫¹⁾, 成田 道子¹⁾, 眞壁 一志¹⁾, 江口 和奏¹⁾, 葛巻 直子¹⁾, 成田 年^{1,3)}

星薬科大学 薬理学研究室¹⁾, 順天堂大学 漢方医学先端臨床センター²⁾,
星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)³⁾

P-11 かゆみを緩和する脳機能解析 - 脳内報酬系遮断による搔破行動の制御 -

○及川 大亮¹⁾, 玉川 隆生^{1,2)}, 佐藤 大介¹⁾, 濱田 祐輔³⁾, 東條 陸¹⁾, 早矢仕 ゆりあ¹⁾,
井関 雅子²⁾, 山中 章弘⁴⁾, 成田 道子¹⁾, 葛巻 直子^{1,3)}, 成田 年^{1,3)}

星薬科大学 薬理学研究室¹⁾, 順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座²⁾,
星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)³⁾, 名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野 II⁴⁾

P-12 Cisplatin の連続投与は全身免疫機構を変容させる

○荒川 和彦^{1,2)}, 近藤 貴茂²⁾, 及川 大亮²⁾, 田邊 一貴²⁾, 佐藤 大介²⁾, 浅野 克典²⁾,
濱田 祐輔^{2,3)}, 葛巻 直子^{2,3)}, 成田 年^{2,3)}

東京医科歯科大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 星薬科大学 薬理学研究室²⁾,
星薬科大学 先端生命科学研究センター (L-StaR)³⁾

P-13 ナルフラフィンの鎮静作用のないκオピオイド受容体作動薬の創出研究

○谷田 誠浩¹⁾, 南雲 康行²⁾, 日野 翼¹⁾, 山本 直司²⁾, 斉藤 毅²⁾, 沓村 憲樹²⁾, 長瀬 博^{1,2)}
筑波大学院 数理物質¹⁾, 筑波大学睡眠研究機構 (WPI-IIIS)²⁾

**P-14 トリプルネガティブ乳がんに対するシスプラチン・カフェイン併用化学療法の開発
～培養細胞とマウスモデルを用いた有効性および安全性に関する基礎的検討～**

○河野 洋平, 齋藤 めぐみ, 菊池 優貴乃, 野原 萌, 青山 隆夫

東京理科大学薬学部 薬物治療学研究室

**P-15 漢方薬半夏瀉心湯のヒト口腔ケラチノサイト損傷治癒作用のメカニズム解明
～がん患者の口内炎克服を目指して～**

○長谷川 誠哉^{1,2)}, 宮野 加奈子²⁾, 野中 美希²⁾, 宇津 美秋²⁾, 吉田 有輝^{2,3)}, 大宮 雄司⁴⁾,
樋上 賀一³⁾, 藤井 秀明¹⁾, 上園 保仁^{2,5,6)}

北里大学薬学部 生命薬化学研究室¹⁾, 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野²⁾,
東京理科大学大学院 薬学研究科 分子病理・代謝学研究室³⁾, 株式会社ツムラ ツムラ漢方研究所⁴⁾,
国立がん研究センター 先端医療開発センター 支持療法開発分野⁵⁾,
国立がん研究センター中央病院 支持療法開発部門⁶⁾

**P-16 神経障害性疼痛マウスモデルの後根神経節におけるリン脂質組成および脂質メディエーターの
網羅的解析**

○山本 将大¹⁾, 吉田 (橋立) 智美¹⁾, 進藤 英雄^{1,2,3)}, 清水 孝雄¹⁾

国立国際医療研究センター研究所 脂質シグナリングプロジェクト¹⁾,
東京大学大学院 医学系研究科 脂質医科学連携講座²⁾, AMED³⁾

- P-17 統合失調症様モデルマウスの痛覚感受性低下とセロトニン下行性疼痛抑制系の活性化**
 ○吾郷 由希夫^{1,2,3)}, 堀口 直剛²⁾, 浅田 和希²⁾, 中川 晋作¹⁾, 松田 敏夫²⁾, 田熊 一敬^{2,4,5)}
 大阪大学大学院 薬学研究科 薬剤学分野¹⁾, 大阪大学大学院 薬学研究科 薬物治療学分野²⁾,
 大阪大学大学院 薬学研究科 神経薬理学分野³⁾, 大阪大学大学院 歯学研究科 薬理学教室⁴⁾,
 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所⁵⁾
- P-18 Aβ線維を介する神経障害性アロディニアに関与する脊髄後角第II層神経サブセット**
 ○津田 誠, 田島 諒一, 古賀 啓祐
 九州大学大学院 薬学研究院 ライフイノベーション分野
- P-19 脳卒中後疼痛モデルマウスに対するニコチン投与の影響**
 ○松浦 渉, 中本 賀寿夫, 徳山 尚吾
 神戸学院大学 薬・臨床薬学
- P-20 オピオイド鎮痛薬に併用されるNSAIDsによるがん性疼痛コントロールへの影響**
 ○人見 可蓮¹⁾, 岸本 大裕²⁾, 文 礼朗¹⁾, 酒井 繁彰²⁾, 清海 杏奈¹⁾, 田中 嘉一²⁾, 杉浦 宗敏¹⁾
 東京薬科大学¹⁾, 千葉県済生会 習志野病院²⁾
- P-21 高用量トラマドールから換算比より低用量のヒドロモルフォンにスイッチングし疼痛コントロールが良好であった1例**
 ○相内 志織^{1,2)}, 番場 麻菜美^{1,2)}, 柳本 千景²⁾, 太田 智裕^{2,3)}, 山本 章二¹⁾, 的場 元弘^{2,3)}
 青森県立中央病院 薬剤部¹⁾, 青森県立中央病院 緩和ケアチーム²⁾, 青森県立中央病院 緩和医療科³⁾
- P-22 頸部食道癌の難治性神経障害性疼痛に対し、メサドンとタペンタドールの併用が有効であった一例**
 ○荒木 優子¹⁾, 中村 由紀¹⁾, 弘津 理子¹⁾, 中山 知恵¹⁾, 加藤 史恵¹⁾, 西村 明子¹⁾, 平田 朗子²⁾,
 新家 治子²⁾, 譜久山 仁²⁾
 医療法人社団医仁会 ふくやま病院 薬剤科¹⁾, 医療法人社団医仁会 ふくやま病院 緩和ケア科²⁾
- P-23 末期心不全患者に対するモルヒネの使用状況と今後の課題**
 ○中島 彰子¹⁾, 香川 実咲¹⁾, 宮川 幸子²⁾, 野崎 純子¹⁾, 仲川 三春³⁾, 安部 浩美¹⁾
 香川県立中央病院 薬剤部¹⁾, 香川県立丸亀病院 薬剤部²⁾, 香川県立白鳥病院 薬剤部³⁾
- P-24 プロクロルペラジン錠による錐体外路症状が現われた1症例とその対応**
 ○古川 貴史¹⁾, 畑 宏明²⁾, 清水 一郎²⁾
 株式会社スギ薬局 八幡男山店¹⁾, 株式会社スギ薬局 医療事業部²⁾
- P-25 オピオイド開始時における薬剤選択の実態調査と効果及び忍容性の検討**
 ○後藤 桂輔¹⁾, 梅原 健吾¹⁾, 岡崎 泰香¹⁾, 若本 あずさ¹⁾, 初山 多恵¹⁾, 佐藤 秀紀²⁾
 札幌南三条病院¹⁾, 北海道科学大学薬学部²⁾
- P-26 当院におけるフェンタニルクエン酸塩舌下錠の使用状況とその動向**
 ○杉田 昌子, 長渡 亜子, 草薙 俊輔, 岡峯 優花, 飛高 光治
 社会医療法人同心会 古賀総合病院
- P-27 進行胃癌の癌性疼痛患者にフェンタニル貼付剤を開始したが、退薬症候が出現することなく中止できた1例**
 ○浅木 基裕, 日野 美樹, 湖城 均
 一般財団法人積善会 十全総合病院

- P-28 腹膜透析患者の疼痛緩和と退院支援を実践した一症例**
 ○岡部 真実¹⁾, 村上 通康¹⁾, 塩坂 育子¹⁾, 三好 真由子²⁾, 得能 裕子²⁾, 仙波 昌三¹⁾
 松山赤十字病院 薬剤部¹⁾, 松山赤十字病院 看護部²⁾
- P-29 バッカル部位に保持できない患者に対するフェンタニル口腔粘膜吸収剤 (イーフェン[®] バッカル錠) の有効性**
 ○武井 大輔¹⁾, 松坂 和正¹⁾, 余宮 きのみ²⁾, 中村 益美¹⁾
 埼玉県立がんセンター 薬剤部¹⁾, 埼玉県立がんセンター 緩和ケア科²⁾
- P-30 緩和ケア経験を有する医療従事者を対象とした即効性オピオイド製剤の適正使用に関する認知度調査**
 ○小瀬 英司¹⁾, 安 泰成²⁾, 吉川 明彦²⁾, 安野 伸浩¹⁾
 帝京大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 横須賀共済病院 薬剤科²⁾
- P-31 フェンタニル舌下錠の突出痛コントロール不良に至るリスク因子の探索**
 ○成瀬 亮, 加藤 博史, 宮崎 雅之, 千崎 康司, 永井 拓, 山田 清文
 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部
- P-32 フェンタニルクエン酸塩舌下錠を 1 日 4 回使用後、意識低下を認めた一例**
 ○里見 真知子
 医療法人社団慈成会 東旭川病院
- P-33 経口摂取困難患者の難渋する疼痛コントロールにメサドン簡易懸濁の投与が効果的であった 1 症例**
 ○水川 奈己¹⁾, 鈴木 聖¹⁾, 馬場 可南美¹⁾, 磯部 芳江¹⁾, 辻 繁子¹⁾, 村上 あきつ²⁾, 加地 雅人¹⁾, 小坂 信二¹⁾, 辻 晃仁²⁾, 芳地 一¹⁾
 香川大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 香川大学医学部附属病院 腫瘍内科²⁾
- P-34 メサドンへオピオイドスイッチング後に難治性の神経障害性疼痛が改善した一例**
 ○皆元 文恵, 金澤 康範
 飯塚病院 薬剤部
- P-35 オキシコドン徐放錠とタペンタドール塩酸塩徐放錠の併用により疼痛が改善した 1 例**
 ○小島 佑太¹⁾, 多田 萌菜美¹⁾, 松田 俊之¹⁾, 門脇 郁美²⁾
 独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院 薬剤部¹⁾, 独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院 看護部²⁾
- P-36 ヒドロモルフォンの使用実績**
 ○藤崎 佳那子, 永島 孝章
 長田病院
- P-37 当院におけるヒドロモルフォン内服製剤の使用状況**
 ○宮川 幸子¹⁾, 香川 実咲²⁾, 中島 彰子²⁾, 都村 いつこ²⁾, 安部 浩美²⁾
 香川県立丸亀病院¹⁾, 香川県立中央病院²⁾
- P-38 当院におけるヒドロモルフォンの使用経験**
 ○戸祭 庸子^{1,2)}, 西原 彰浩^{2,3)}
 箕面市立病院 薬剤部¹⁾, 箕面市立病院 緩和ケアチーム²⁾, 箕面市立病院 消化器内科³⁾

P-39 ヒドロモルフォン使用症例の後方視的調査

○高橋 智恵子^{1,2)}, 後藤 愛実^{1,2)}, 桑門 心²⁾, 長嶺 美奈子²⁾, 西原 雅美¹⁾, 勝間田 敬弘¹⁾
大阪医科大学附属病院 薬剤部¹⁾, 大阪医科大学附属病院 緩和ケアチーム²⁾

P-40 ヒドロモルフォン塩酸塩の使用実態調査

○飛鷹 範明^{1,2)}, 伊賀 久美^{1,2)}, 山下 登^{1,2)}, 安永 大輝^{1,2)}, 林 博美²⁾, 藤井 知美²⁾, 田中 守¹⁾,
田中 亮裕¹⁾
愛媛大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 愛媛大学医学部附属病院 緩和ケアチーム²⁾

P-41 がん疼痛緩和におけるヒドロモルフォンの有効性の検討

○鈴木 景就^{1,2,3)}, 村川 麻里子¹⁾, 石渡 明子²⁾, 明石 浩史³⁾, 木村 雅美⁴⁾
済生会小樽病院 薬剤室¹⁾, 済生会小樽病院 看護部²⁾, 済生会小樽病院 内科³⁾, 済生会小樽病院 外科⁴⁾

P-42 当院におけるヒドロモルフォン徐放錠の使用状況についての検討

○迫田 耕輔, 中野 公
社会医療法人天陽会 中央病院

P-43 当院におけるヒドロモルフォン注射剤の使用状況の検討

○磯部 芳江, 鈴木 聖, 水川 奈己, 馬場 可南美, 元木 貴大, 田中 裕章, 辻 繁子, 加地 雅人,
小坂 信二, 芳地 一
香川大学医学部附属病院

P-44 ヒドロモルフォン塩酸塩注 0.2% 製剤 (ナルベイン[®]注) の処方傾向の検討

○杉原 弘記¹⁾, 岡田 昌浩¹⁾, 岡本 伸也¹⁾, 渡辺 陽子²⁾, 木村 圭佑³⁾, 小野田 正³⁾, 竹井 英介¹⁾
尾道市立市民病院 薬剤部¹⁾, 尾道市立市民病院 看護部²⁾, 尾道市立市民病院 外科³⁾

P-45 ヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠の使用量における実態調査

○松川 優衣, 國松 香純, 山本 優佳里, 坂井 伸成, 宇野 美津江, 森 富男
福井県立病院

P-46 オピオイド換算ソフトの開発と有用性の評価

○古川 順章, 上野 裕之
国立病院機構 兵庫中央病院

P-47 当院におけるオキシコドン注射薬へのオピオイド・スイッチング時の換算量実態調査

○大平 真也, 上野 千奈美, 赤木 貴紀, 今田 雅子, 酒井 洋子, 谷口 雅敏
広島赤十字・原爆病院 薬剤部

P-48 オキシコドン錠からフェンタニル貼付剤へのスイッチング時の有害事象に影響を与える因子の検討

○赤星 真広, 堀ノ内 志織, 中松 穂菜美, 鶴永 大貴, 中村 有莉恵, 堀内 智裕, 上原 友美,
池増 鮎美, 佐多 照正
鹿児島厚生連病院

P-49 当院におけるオキシコドン徐放錠からフェンタニル貼付剤の切り替えの現状 第2報

○今田 雅子, 赤木 貴紀, 上野 千奈美, 大平 真也, 酒井 洋子, 谷口 雅敏
広島赤十字・原爆病院

- P-50 換算比より少量のフェンタニル貼付剤へのオピオイドスイッチングで除痛が得られた肺がん脊椎転移の1例**
- 谷岡 哲^{1,4)}, 金澤 学^{3,4)}, 竹藪 公洋^{2,4)}
 社会福祉法人北海道社会事業協会 小樽病院 薬剤科¹⁾,
 社会福祉法人北海道社会事業協会 小樽病院 呼吸器科²⁾,
 社会福祉法人北海道社会事業協会 小樽病院 看護部³⁾,
 社会福祉法人北海道社会事業協会 小樽病院 緩和ケアチーム⁴⁾
-
- P-51 がん性疼痛に対し強オピオイド鎮痛薬を高用量で使用する要因の調査**
- 竹迫 明子, 吉川 直樹, 畑中 真理, 保田 和哉, 池田 龍二
 宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
-
- P-52 プレガバリンの有効性に影響を与える因子の探索**
- 竹内 佐織, 稲垣 孝行, 松原 匡希, 宮崎 雅之, 千崎 康司, 永井 拓, 山田 清文
 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部
-
- P-53 頸椎転移に伴う難治性疼痛に対してオキシコドンとリドカイン持続注射が有効だった1例**
- 尾関 あゆみ^{1,2)}, 鶴崎 泰史¹⁾, 花田 聖典¹⁾, 浮池 聡子¹⁾, 磯部 博隆²⁾, 安永 浩子²⁾,
 中川 義浩²⁾
 国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部¹⁾, 国立病院機構 熊本医療センター 緩和ケアチーム²⁾
-
- P-54 アンブルガラス片によるPCA装置付加圧式医薬品注入器からの液漏れに対する医師・看護師への手技教育の必要性**
- 遠山 幸男, 小島 庸子, 荒川 裕貴, 山室 栄一, 杉本 智哉, 中村 千加弘, 高岡 龍蔵,
 藤村 亜未, 藤井 智美, 久田 達也
 トヨタ記念病院 薬剤科
-
- P-55 当院における非がん性慢性疼痛でのオピオイド鎮痛薬貼付剤の使用状況調査**
- 澁谷 恵美子, 小野 達也
 IHI 播磨病院 薬剤科
-
- P-56 難治性がん疼痛を有する終末期がん患者に対しても膜下鎮痛法および持続皮下注の併用により在宅での看取りが可能となった一例**
- 松尾 由加里^{1,2)}, 前里 喜一³⁾, 岡口 美帆⁴⁾
 医療法人松籟会 河畔病院 薬剤科¹⁾,
 株式会社トータル・メディカルサービス さくら新武雄病院前薬局²⁾,
 医療法人松籟会 河畔病院 緩和ケア科³⁾, 医療法人松籟会 河畔病院 看護部⁴⁾
-
- P-57 当院における麻薬施用状況と薬剤師の介入による疼痛コントロールの有効性について**
- 渡邊 恵美, 柿元 郁代, 中村 聡志, 中島 隆司, 本屋 敏郎
 垂水市立医療センター垂水中央病院
-
- P-58 緩和ケア介入患者に関する疼痛カンファレンスシート改訂とその効果について**
- 水木 麻里¹⁾, 塩江 さつき¹⁾, 森 美樹²⁾
 徳島県鳴門病院 薬剤部¹⁾, 徳島県鳴門病院 看護部²⁾
-
- P-59 薬剤師によるフィジカルアセスメントを実践する事により副作用を発見し処方提案を行った2症例**
- 筋 由衣, 八幡 浩信, 徳嶺 恵子
 沖縄県立北部病院

- P-60 当院におけるオピオイド鎮痛薬の有害事象とその対応について**
○齋藤 裕輝, 五十嵐 彩香, 高橋 健太, 関沢 祐一
NTT 東日本札幌病院 薬剤科
- P-61 強オピオイド鎮痛薬使用患者への支持療法に関する調査**
○工藤 真弓^{1,2)}, 坪谷 綾子^{1,2)}, 佐々木 奈絵¹⁾, 伊藤 由香¹⁾, 津田 享志^{1,2)}, 石井 将光^{1,2)}, 坂下 裕子¹⁾
川崎市立多摩病院 (指定管理者: 聖マリアンナ医科大学)¹⁾,
川崎市立多摩病院 (指定管理者: 聖マリアンナ医科大学) 緩和ケアチーム²⁾
- P-62 緩和ケア病棟における便秘治療薬使用状況調査**
○坂本 爽佳, 菅田 佳子, 東 千尋, 和田 祐一郎, 森 一生
大分市医師会立アルメイダ病院
- P-63 内服オピオイド鎮痛薬使用患者における便秘症治療薬の使用実態調査**
○元木 孝, 高柳 昌宏, 千田 泰健
釧路赤十字病院 薬剤部
- P-64 オキシコドン徐放錠内服によるオピオイド誘発性便秘症に対するエロビキシバット水和物の有効性と安全性に関する単施設後方視的検討**
○守作 美咲, 伊藤 佳織, 下村 建貴, 覚前 有希子, 牧原 俊康, 山田 成樹
藤田医科大学病院 薬剤部
- P-65 薬物間相互作用による有害事象が緩和ケア担当薬剤師の介入により特定された一例**
○美馬 朱美^{1,2)}, 勝田 雄太^{1,2)}, 田代 千香²⁾, 安島 秀友¹⁾, 松崎 貴志¹⁾
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部¹⁾,
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 緩和ケアチーム²⁾
- P-66 タベンタドールとアルコール併用による意識障害と思われた 1 例**
○神野 統尚, 石川 遥介, 小鷹 篤, 飯塚 敏美, 堀口 雅巳
望星薬局
- P-67 オキシコドン徐放錠誘発性便秘に対する治療法に関する観察研究 -ナルデメジン追加投与法とフェンタニル貼付剤へのスイッチング法の比較-**
○平山 武司^{1,2)}, 武道 涼平¹⁾, 鈴木 葵²⁾, 園部 大地²⁾, 本間 雅士¹⁾, 太田 智博¹⁾, 平塚 公己¹⁾, 林 経人³⁾, 金井 昭文⁴⁾, 厚田 幸一郎^{1,2)}
北里大学病院 薬剤部¹⁾, 北里大学薬学部²⁾, 北里大学医学部 麻酔科学³⁾,
北里大学医学部附属新世紀医療開発センター⁴⁾
- P-68 強オピオイド使用がん患者におけるナルデメジンの有効性に及ぼす因子の検討**
○石田 ゆり¹⁾, 榎本 弘美¹⁾, 板垣 文雄^{1,2)}, 安野 伸浩^{1,2)}
帝京大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 帝京大学薬学部²⁾
- P-69 オピオイド誘発性便秘症に対するナルデメジントシル酸塩の臨床的効果に影響を及ぼす要因の検討**
○後藤 悠, 柴波 明男
JA 北海道厚生連 旭川厚生病院

- P-70 肺がん患者におけるナルデメジン投与に影響を与える因子と費用についての検討**
 ○植田 有希^{1,5)}, 鈴木 秀和⁴⁾, 富士 芳美^{1,5)}, 友井 理恵子^{1,5)}, 木村 貴^{1,5)}, 岡田 由佳里^{2,5)}, 高田 宏宗^{3,5)}, 森下 直子^{4,5)}, 望月 千枝^{1,5)}, 平島 智徳^{4,5)}
 大阪はびきの医療センター 薬局¹⁾, 大阪はびきの医療センター 看護部²⁾, 大阪はびきの医療センター 感染症内科³⁾, 大阪はびきの医療センター 肺腫瘍内科⁴⁾, 大阪はびきの医療センター 緩和ケアチーム⁵⁾
- P-71 ナルデメジンの有効性に影響を与える要因の検討**
 ○有馬 亜希, 金子 綾乃, 元永 佳奈絵, 平井 成和, 土井 啓員, 佐藤 直子, 佐野 君芳, 増田 雅行
 東邦大学医療センター佐倉病院
- P-72 当院におけるナルデメジンの使用状況と、併用下剤の変化**
 ○稲田 圭介
 あそかビハーラ病院
- P-73 アテゾリズマブ投与後免疫関連副作用を発現した腎機能低下患者のオピオイド誘発性便秘に対し、ナルデメジンが有用であった 1 症例**
 ○萩原 里美, 松本 健吾, 畑 加奈子, 細瀧 喜代志
 公立玉名中央病院
- P-74 当院におけるナルデメジンの使用状況**
 ○畑 加奈子, 萩原 里美, 細瀧 喜代志, 田宮 貞宏
 公立玉名中央病院
- P-75 脳転移を有するがん患者へのナルデメジン投与がオピオイド使用量に与える影響**
 ○深井 雄太, 玉木 慎也, 橋下 浩紀, 遠藤 雅之
 国立病院機構 北海道がんセンター 薬剤部
- P-76 当院におけるナルデメジントシル酸塩錠の使用実績調査**
 ○仲田 浩成¹⁾, 松藤 敬佑¹⁾, 原 茉莉絵¹⁾, 築田 晃直²⁾, 三角 紳博¹⁾
 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部¹⁾, 独立行政法人国立病院機構 沖縄病院 薬剤科²⁾
- P-77 オピオイド誘発性便秘症治療薬ナルデメジンと併用下剤の使用状況調査**
 ○上西 真理子, 梅田 勇一, 皆元 文恵, 金澤 康範
 飯塚病院
- P-78 フェンタニル使用患者におけるナルデメジンの有効性および下痢に関する検討**
 ○藤本 愛理¹⁾, 川俣 洋生¹⁾, 福石 和久¹⁾, 西野 隆¹⁾, 甲斐 祭生²⁾, 難波 世利子²⁾, 堤 国章¹⁾
 九州医療センター 薬剤部¹⁾, 九州医療センター 緩和ケアチーム²⁾
- P-79 当院におけるナルデメジンの使用状況調査**
 ○松葉 智哉, 増田 晃, 高橋 果奈, 熊谷 美知子, 西村 忠晃, 山田 廉, 早坂 望, 鹿志村 有紗, 佐々木 翔太, 佐藤 秀樹, 熊谷 央路
 岩手県立宮古病院
- P-80 高用量麻薬使用時においてもナルデメジンが奏功していた一症例**
 ○村田 智弘, 後藤 美緒, 平川 雅章
 福岡徳洲会病院

P-81 当院におけるナルデメジントシル酸塩錠の使用状況

○吉田 勝好, 俵 早紀, 赤石 憲俊, 郷原 学
益田赤十字病院 薬剤部

P-82 オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対する乳がん治療薬フルベストラントの保護効果

○山下 智大¹⁾, 山本 将大^{2,3)}, 伊藤 麻結²⁾, カアベイロ ホセ¹⁾, 江頭 伸昭⁴⁾, 齊藤 秀俊²⁾, 津田 誠²⁾

九州大学大学院 薬学研究院 グローバルヘルスケア分野¹⁾,
九州大学大学院 薬学研究院 ライフイノベーション分野²⁾,
国立国際医療研究センター研究所 脂質シグナリングプロジェクト³⁾,
九州大学病院 薬剤部 薬学研究院 臨床薬物治療学分野⁴⁾

P-83 副作用自発報告データベースおよび薬物の物理化学的特徴量による口内炎発現の定量的評価

○永井 純子, 染谷 彩花, 植沢 芳広
明治薬科大学 医療分子解析学研究室

P-84 オキサリプラチン後発医薬品による血管痛発現に対する危険因子の検討

○黒部 健太郎, 田中 康弘, 宮原 強, 松永 尚
佐賀県医療センター好生館 薬剤部

P-85 パルボシクリブの副作用調査から気づいた薬剤師にできること

○尾形 美絵, 財津 孝希, 瀧内 瑛輔, 長澤 欣弘, 羽生 智宏, 田村 和彦, 新関 みどり, 近藤 和宏
大分県済生会 日田病院 薬剤部

P-86 乳癌による皮膚潰瘍部に対して亜鉛華でんぷんが有効であった 1 症例

○郡司 尚加¹⁾, 小池 和彦⁵⁾, 加藤 智子³⁾, 猪野谷 ひとみ²⁾, 工藤 弘恵²⁾, 渡邊 昭彦⁴⁾, 後藤 義朗⁶⁾, 細貝 智一¹⁾, 西里 卓次⁵⁾

札幌清田病院 緩和支援医療センター 薬剤部¹⁾,
札幌清田病院 緩和支援医療センター 緩和ケア病棟看護師²⁾, 札幌清田病院 外来看護課³⁾,
札幌清田病院 緩和支援医療センター 緩和ケア科麻酔科⁴⁾,
札幌清田病院 緩和支援医療センター 緩和ケア内科⁵⁾,
札幌清田病院 緩和支援医療センター リハビリテーション科⁶⁾

P-87 漢方薬人参養栄湯による食欲中枢シグナルを形成するグレリン受容体、ニューロペプチド Y 受容体およびオレキシン受容体への効果解析

○鈴木 希^{1,2)}, 大島 佳織^{2,3)}, 宮野 加奈子²⁾, 川島 都司樹^{2,3)}, 野中 美希²⁾, 宇津 美秋²⁾, 吉澤 一巳³⁾, 藤井 秀明¹⁾, 上園 保仁^{2,4,5)}

北里大学薬学部 生命薬化学研究室¹⁾, 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野²⁾,
東京理科大学大学院 薬学研究科 疾患薬理学研究室³⁾,
国立がん研究センター 先端医療開発センター 支持療法開発分野⁴⁾,
国立がん研究センター中央病院 支持療法開発部門⁵⁾

P-88 持続するせん妄により治療困難となった患者とその家族の思いに添った意思決定支援に介入した 1 例

○加茂 章弘^{1,2)}, 小迫 晶寛¹⁾, 上村 豪¹⁾, 上村 直美²⁾, 上原 美紀²⁾, 久保 邦子²⁾, 植村 隆¹⁾, 濱田 美奈子³⁾, 肝付 洋²⁾, 廣津 泰寛^{2,3)}

国立病院機構 南九州病院 薬剤部¹⁾, 国立病院機構 南九州病院 緩和ケアチーム²⁾,
国立病院機構 南九州病院 緩和ケア科³⁾

P-89 当院におけるがん・非がん終末期患者へのクエチアピン製剤使用状況○阿部 美佐緒^{1,2,4)}, 村上 祥子^{1,3,4)}, 小竹 美穂^{1,2)}独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院¹⁾,
独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 薬剤部²⁾,
独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 看護部³⁾,
独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 がん診療サポートチーム⁴⁾**P-90 当院緩和ケア病棟におけるせん妄リスク因子の検索**○船越 康太^{1,3)}, 高浪 英樹^{2,3)}, 矢野 博子^{2,3)}, 石川 幹真^{2,3)}, 後藤 渉¹⁾製鉄記念八幡病院 薬剤部¹⁾, 製鉄記念八幡病院 緩和ケア外科²⁾, 製鉄記念八幡病院 緩和ケアチーム³⁾**P-91 不穏患者に対して薬剤師が介入した当院での成果報告**

○中島 隆司, 柿元 郁代, 渡邊 恵美, 中村 聡志, 本屋 敏郎

垂水市立医療センター 垂水中央病院

P-92 持続的鎮静導入過程の比較

○笹木 洋

森下病院

P-93 当院におけるゾレドロン酸水和物注射液の投与状況 ～腎機能に応じて調節すべきか～○小西 正晃¹⁾, 西尾 貴之¹⁾, 三木 賢人¹⁾, 南木 伸基²⁾さぬき市民病院 薬剤科¹⁾, さぬき市民病院 内科²⁾**P-94 緩和ケア領域薬剤のフォーミュラリー作成**

○東 千尋, 坂本 爽佳, 和田 祐一郎, 山代 栄土, 菅田 佳子, 森 一生

大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部

P-95 呼吸器領域のがん患者に対するミダゾラムとオピオイド併用投与に関する検討

○太田 恵, 権平 由貴, 新倉 白朗, 丸山 真一, 菅野 浩

済生会横浜市東部病院

P-96 自壊創腫瘍モデルマウスにおける新規製剤設計 Mohs ペーストの組織固定効果○田口 真穂¹⁾, 重山 昌人²⁾, 吉澤 萌³⁾, 倉本 雅也³⁾, 山本 浩充³⁾横浜薬科大学¹⁾, 岐阜医療科学大学大学院²⁾, 愛知学院大学薬学部³⁾**P-97 胆汁うっ帯による搔痒感に対する paroxetine の有効性の調査**

○石川 敬祐, 伊藤 慎二, 磯貝 潤一, 小林 沙矢香

津島市民病院

P-98 終末期がん患者の睡眠障害に対するミダゾラムの有効性と安全性の評価～第2報～

○土屋 裕伴, 沖田 彩, 諸橋 賢人, 光田 恵里香, 新井 亘, 増田 裕一

AMG 上尾中央総合病院

P-99 ミダゾラム急速静脈内投与後に重度のシバリングを生じた一例○吉尾 敬登^{1,6)}, 間瀬 広樹^{1,6)}, 石嶋 麗^{1,6)}, 江戸 稚香子^{2,6)}, 三村 優仁^{3,6)}, 小室 龍太郎^{4,6)},
秋山 哲平¹⁾, 鶴浦 雅志^{5,6)}金沢医療センター 薬剤部¹⁾, 金沢医療センター 看護部²⁾, 金沢医療センター 血液内科³⁾,
金沢医療センター 緩和ケア内科⁴⁾, 金沢医療センター 消化器内科⁵⁾,
金沢医療センター 緩和ケアチーム⁶⁾

- P-100 肺がんの転移性脳腫瘍、癌性髄膜炎による頭痛・嘔気に対して五苓散が有効であった 1 例**
- 外園 弥生¹⁾, 伊藤 智一¹⁾, 小澤 有輝¹⁾, 久保 範子¹⁾, 鈴木 信也¹⁾, 磯野 永依²⁾, 林 誠一¹⁾
 一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 薬局¹⁾,
 一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 緩和ケア内科²⁾
-
- P-101 初発多発性骨髄腫患者を対象とした化学療法施行に伴う腎機能推移および症候性骨病変に対する骨病変治療薬使用状況の検討**
- 中川 隼一, 岡田 悠美, 櫻井 彩乃, 秋本 純矢, 皆川 卓也, 茂原 圭佑, 蔭山 博之,
 平島 徹
 東京慈恵会 医科大学附属第三病院 薬剤部
-
- P-102 柿蒂湯と低用量 D2 遮断薬併用による抗痙攣作用の検討**
- 川俣 愛¹⁾, 内田 樹¹⁾, 小林 徹也¹⁾, 加賀谷 肇²⁾, 野澤(石井) 玲子¹⁾
 明治薬科大学 臨床神経薬理学研究室¹⁾, 医薬品適正使用・乱用防止推進会議²⁾
-
- P-103 緩和医療領域におけるせん妄誘発要因の関連性に関する調査・研究(第4報)**
- 相沢 健太¹⁾, 菅野 智²⁾, 永井 純子³⁾, 植沢 芳広³⁾, 荒井 進⁴⁾, 稲葉 裕⁵⁾, 加賀谷 肇⁶⁾,
 野澤(石井) 玲子¹⁾
 明治薬科大学 臨床神経薬理学研究室¹⁾, 救世軍清瀬病院 薬剤科²⁾,
 明治薬科大学 医療分子解析学研究室³⁾, 救世軍清瀬病院 緩和ケア科⁴⁾, 救世軍清瀬病院 内科⁵⁾,
 医薬品適正使用・乱用防止推進会議⁶⁾
-
- P-104 終末期における鎮静の現状と鎮静オーダーセット作成の効果**
- 田村 奈美子, 田中 和行, 世羅 綾香, 高田 百合菜, 山内 健, 吉政 直美, 岡井 由美子,
 渡辺 美和
 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立舟入市民病院 薬剤科
-
- P-105 緩和ケア病棟におけるがん末期患者の抗血栓治療に関する実態調査**
- 黒屋 謙吾, 萬谷 摩美子, 武田 佐知子, 山田 祐司
 医療法人愛和会 愛和病院
-
- P-106 ヒドロモルフォンは呼吸困難感に効果があるか～当院で経験した 2 症例を通して～**
- 渡辺 篤, 岡崎 将也, 野村 実由, 松本 俊治, 柳田 祐子
 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院 薬剤部
-
- P-107 抗 PD-1 抗体ニボルマブ注が奏効し鎮痛剤が減量できた悪性胸膜中皮腫の症例**
- 竹内 綾子¹⁾, 後藤 康秀¹⁾, 岩浪 崇嗣²⁾
 一般社団法人遠賀中間医師会 遠賀中間医師会 おんが病院 薬剤部¹⁾,
 一般社団法人遠賀中間医師会 遠賀中間医師会 おんが病院 呼吸器外科²⁾
-
- P-108 レスキュー薬によるケミカルコーピングが疑われた 1 症例**
- 北村 憲雅, 松野 知寛, 横尾 賢乗
 福岡県済生会二日市病院
-
- P-109 同種造血幹細胞移植患者における CYP3A4 阻害剤のオピオイド臨床効果に与える影響**
- 松下 尚弘, 古賀 清弘, 原 友子, 桑崎 綾子, 黒木 吟美, 田中 早穂子, 野中 敏治
 国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

P-110 “オピオイド導入パス使用手順”のフローチャートの作成と有用性の評価

○児玉 麻代, 岩下 佳敬, 藺田 晃弘, 中尾 承司, 高田 侑那, 浜園 龍, 久永 あゆみ, 森永 知沙, 石田 和久

出水郡医師会 広域医療センター

P-111 緩和ケアチーム活動への薬剤師介入の検証とそれに基づく職能の最大化を目指して

○竹澤 唯¹⁾, 粕谷 香¹⁾, 中川 左理^{1,2)}, 西本 哲郎³⁾, 石井 良平³⁾, 江頭 佐都美³⁾, 橋野 陽子³⁾, 岡本 禎晃^{2,3)}

神戸学院大学 薬学部¹⁾, 市立芦屋病院 薬剤科²⁾, 市立芦屋病院 サポートケアチーム³⁾

P-112 緩和ケアチームの薬剤師が処方提案することで化学療法と疼痛コントロール実施患者への傾眠に対し症状改善が認められた一例

○小谷 侑太郎, 幸山 小百合

鳥取生協病院

P-113 ケミカルコーピングを疑い、緩和ケアチームとの連携を図った3症例の検討

○石山 明人¹⁾, 古賀 聖子¹⁾, 濱口 幸人²⁾, 小宗 貴誉子²⁾, 平井 寿昭³⁾, 青木 浩⁴⁾, 富安 志郎⁵⁾
佐世保市総合医療センター 薬剤部¹⁾, 佐世保市総合医療センター 看護部²⁾,
佐世保市総合医療センター 緩和ケア精神科³⁾, 佐世保市総合医療センター 麻酔科⁴⁾,
佐世保市総合医療センター 緩和ケア科⁵⁾

P-114 オピオイドスイッチング補助ツールの作成の取り組み

○小林 由佳^{1,2)}, 大泉 崇¹⁾, 高橋 篤子²⁾, 斉藤 優子²⁾, 庄司 優子²⁾, 長瀬 輝顕²⁾, 松田 美樹子¹⁾
山形県立新庄病院 薬剤部¹⁾, 山形県立新庄病院 緩和ケアチーム²⁾

P-115 一保険薬局における医療用麻薬の在庫状況 ～10年前との比較～

○稲葉 一郎, 沼田 朋和, 天方 奉子

薬局セントラルファーマシー長嶺

P-116 アプストラル舌下錠[®]の適正使用に関する取り組み

○片山 恵美子, 荒神 一博, 迫田 真行, 尾崎 誠一, 三好 浩一郎

独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター

P-117 一般外来患者における薬剤師外来での疼痛コントロール介入の有用性の検討

○沖田 彩, 土屋 裕伴, 塚田 昌樹, 諸橋 賢人, 光田 恵里香, 新井 亘, 増田 裕一

上尾中央総合病院

**P-118 保険薬局と連携した外来オピオイド使用患者のアセスメント
～オピオイド手帳と指導ツールの作成～**

○比屋根 倫子, 島袋 朝太郎, 渡慶次 憲彦, 山本 要, 長濱 照美

社会医療法人敬愛会 中頭病院

P-119 がん化学療法薬剤師外来におけるがん疼痛治療への介入状況と有用性について

○宮崎 早苗¹⁾, 稲田 みなみ¹⁾, 阿曾沼 伸一¹⁾, 由井蘭 陽一¹⁾, 鹿田 康紀²⁾, 榎林 智子¹⁾

済生会福岡総合病院 薬剤部¹⁾, がん治療センター²⁾

P-120 医師アンケート結果から見る緩和ケアチーム外来の現状と今後

○田中 りかえ¹⁾, 宮下 清美²⁾, 児玉 寛治³⁾

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 薬剤科¹⁾, 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 看護部²⁾,
国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 消化器内科³⁾

P-121 地域における統一したオピオイド換算表作成・運用に関する取り組み

○番場 麻菜美^{1,2)}, 相内 志織^{1,2)}, 福士 博文⁴⁾, 三上 勇⁵⁾, 山本 章二¹⁾, 的場 元弘^{2,3)}
 青森県立中央病院 薬剤部¹⁾, 青森県立中央病院 緩和ケアチーム²⁾, 青森県立中央病院 緩和医療科³⁾,
 青森保健生活協同組合 生協さくら病院薬局⁴⁾, 青森保健生活協同組合 あおもり協立病院薬局⁵⁾

P-122 緩和病棟等患者の外泊・一時帰宅に於ける 緩和薬物療法等支援のための実態調査研究

○工藤 信孝
 株式会社サン薬局 協園薬局

P-123 フェンタニルクエン酸塩貼付剤の減量を機に陥ったレスキュー薬の不適切使用を止めることができた一症例

○天方 奉子, 稲葉 一郎
 薬局セントラルファーマシー長嶺

P-124 保険薬局の薬剤師が外来緩和ケアから在宅緩和ケアへと一貫して関わった一症例

○末廣 翔太
 クオール薬局 下鴨店

P-125 病院薬剤師との連携により円滑な在宅緩和医療が可能となった一例

○土井 武司¹⁾, 三久 裕子¹⁾, 中村 一平²⁾, 清水 一郎¹⁾
 株式会社スギ薬局 大津富士見台店¹⁾, 株式会社スギ薬局 医療事業部²⁾

P-126 筋萎縮性側索硬化症患者の呼吸困難感に対してモルヒネ硫酸塩を定期投与した一例

○大野(川井) 朋子¹⁾, 壁谷 悠介²⁾, 中村 仁美¹⁾, 川島 三千代³⁾, 田中 勝¹⁾
 ハートフェルト薬局¹⁾, 埼玉クリニック²⁾, エムスリーナースサポート³⁾

P-127 在宅緩和医療において注射用麻薬への切り替え要因はなにか？

○山内 恵太¹⁾, 蒔田 皓和¹⁾, 三間 昭平¹⁾, 雪田 洋介²⁾
 ピノキオ薬局 三津屋店¹⁾, 大垣在宅クリニック²⁾

P-128 在宅終末期のみの関わりでも在宅緩和ケアチームの一員となることができた一症例

○江口 真理子
 株式会社大賀薬局 野芥調剤店

P-129 在宅緩和ケアにおける腎機能低下患者の看取りに関わった一例

○小笠原 拓也¹⁾, 八鍬 紘治¹⁾, 金口 美雄²⁾, 長谷川 寛¹⁾
 日本調剤在宅医療部¹⁾, 日本調剤盛岡薬局²⁾

P-130 在宅緩和ケアで使用される注射薬の調剤業務効率化に向けた取り組み

○大江 剛史, 渡邊 邦宏, 木竹 孝亮, 三井所 尊正, 満生 清士
 オリーブ薬局

P-131 急性期病棟入院患者に認められたせん妄症状に対する薬剤師の介入

○真井 健吾, 椎崎 正秀, 平川 智規
 公立八女総合病院 薬剤科

P-132 多職種連携により骨病変の難治性疼痛と繰り返される過活動型せん妄の早期改善に至った一例

○鎌戸 麻衣子¹⁾, 長尾 裕悟¹⁾, 中井 真綾²⁾, 青郷 裕美²⁾, 近藤 寛也¹⁾
 社会医療法人 製鉄記念室蘭病院 薬剤部¹⁾, 社会医療法人 製鉄記念室蘭病院 看護部²⁾

P-133 ケミカルコーピングのスクリーニングシート作成と今後の課題

○岡 仁美^{1,5)}, 森川 沙樹^{1,5)}, 永田 和代^{2,5)}, 西村 直子^{3,5)}, 楠本 将裕^{1,6)}, 深井 靖大¹⁾, 横田 崇¹⁾, 安部 英治^{4,5)}

熊本地域医療センター 薬剤部¹⁾, 熊本地域医療センター 臨床心理士²⁾,
熊本地域医療センター 看護部³⁾, 熊本地域医療センター 麻酔科⁴⁾,
熊本地域医療センター 緩和ケアチーム⁵⁾, 熊本市立熊本市市民病院 医療技術部 薬剤課⁶⁾

P-134 医療用麻薬服用中患者の海外渡航に関与した 1 症例

○山田 憲和¹⁾, 藤原 洋介¹⁾, 高木 明美²⁾, 山村 かほり²⁾, 武田 尚美²⁾, 三崎 究³⁾, 道鎮 正規⁴⁾, 二之宮 貴裕⁵⁾

福井厚生病院 薬剤課¹⁾, 福井厚生病院 看護部²⁾, 福井厚生病院 精神科³⁾, 福井厚生病院 消化器内科⁴⁾,
福井大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科⁵⁾

P-135 緩和ケアチームに依頼された困難症例

○村上 雅彦

岩手県立大船渡病院 緩和医療科

P-136 がん患者に対する Audit System 導入による病状アセスメント強化と薬物治療向上 (第 2 報)

○淡路 健作, 深尾 彰平, 田中 里美, 菅谷 量俊, 高瀬 久光

日本医科大学多摩永山病院 薬剤部

P-137 当院における PCT 主催院内研修後のヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠使用量の変化

○堀江 達夫¹⁾, 森下 晶²⁾, 坂野 茂³⁾, 本田 聡⁴⁾, 野宗 義博⁵⁾, 山形 真吾⁴⁾

大田市立病院 薬剤科¹⁾, 大田市立病院 看護部²⁾, 大田市立病院 外科³⁾,
島根大学 総合医療学講座、大田総合医育成センター⁴⁾, 広島国際大学⁵⁾

P-138 緩和ケア通信を通じた医療者教育

○小崎 恵美, 竹村 真一, 長谷川 友美

JA 福島厚生連白河厚生総合病院

P-139 緩和ケア病院における薬剤師主導の医療安全管理研修

○椎崎 正秀^{1,2)}, 真井 健吾^{1,2)}, 笹原 典子^{1,2)}, 平田 久美子^{1,2)}, 石橋 知奈^{1,2)}, 杉本 佑士^{1,2)}, 原口 勝³⁾

みどりの杜病院 薬剤科¹⁾, 公立八女総合病院 薬剤科²⁾, みどりの杜病院 ホスピス緩和ケア科³⁾

P-140 医療用麻薬を使用する患者の意識変化に関するアンケート調査 (中間報告)

○原 伸輔¹⁾, 川口 明範²⁾, 山田 正実³⁾, 辻井 有加⁴⁾, 宮本 朋佳⁵⁾, 宮部 貴識⁶⁾, 山本 智也¹⁾, 三輪 芳弘¹⁾

大阪大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 近畿大学医学部附属病院 薬剤部²⁾,
社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会野江病院 薬剤科³⁾,
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 薬剤部⁴⁾, 社会医療法人生長会 府中病院 薬剤部⁵⁾,
国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部⁶⁾

P-141 実務実習における緩和ケア領域の知識習得について

○向 一美, 若林 厚史, 辻 依利, 高橋 彩, 田畑 寛明, 猿谷 淳, 地野 幹子

国家公務員共済組合連合会 北陸病院 薬剤科

P-142 実務実習が緩和医療および緩和ケアチームの理解度に与える影響に関する調査

○田島 紳介, 関 礼輔, 畔蒜 祐一郎, 高橋 隆一, 宮脇 久美香, 吉田 彩, 川瀬 範子,
友田 沙也加, 篠原 高雄

杏林大学医学部付属病院 薬剤部

P-143 麻薬教育認定薬剤師の麻薬教育は高校生の医療用麻薬に対する理解と緩和医療の認知や興味を促進する

○佐伯 朋哉¹⁾, 馬渡 弘典²⁾, 横山 太郎³⁾, 石田 梨沙¹⁾, 横山 敦¹⁾, 橋口 宏司¹⁾, 神谷 武伺¹⁾

国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科¹⁾,

国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 緩和支援療法科²⁾, 横浜国立大学市民病院 緩和ケア内科³⁾

P-144 がん教育実施による中学 1 年生の死生観の変化

○堀部 里帆¹⁾, 横山 郁子¹⁾, 河内 正二¹⁾, 藤本 佳昭²⁾, 田中 葉月¹⁾, 森 夕理子¹⁾,
沼田 千賀子¹⁾

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター¹⁾, 神戸大学附属中等教育学校²⁾

P-145 一保険薬局における麻薬処方せんの応需状況～ 10 年前との比較～

○稲葉 一郎, 天方 奉子

薬局セントラルファーマシー長嶺

P-146 当薬局における医療用麻薬在庫確保の状況

○佐藤 優子, 原田 千恵

ファークロス薬局あい

P-147 当院における持参麻薬の現状について 利用と廃棄を中心に

○佐藤 真理子

新座志木中央総合病院

P-148 末期心不全患者に少量モルヒネ塩酸塩注の持続静注が有効であった 1 例

○近岡 伸悟¹⁾, 梶浦 新也^{2,5)}, 竹村 佳記^{3,5)}, 深井 咲衣^{4,5)}, 藤坂 亜希^{4,5)}, 庵 朋美^{4,5)},
屋木 佑太^{1,5)}, 龍 伸和^{1,5)}, 林 龍二^{2,5)}, 足立 伊佐雄¹⁾

富山大学附属病院 薬剤部¹⁾, 富山大学附属病院 臨床腫瘍部²⁾, 富山大学附属病院 麻酔科³⁾,

富山大学附属病院 看護部⁴⁾, 富山大学附属病院 緩和ケアチーム⁵⁾

P-149 当院における末期心不全患者に対するモルヒネの使用状況調査

○高城 沙也香, 尾之江 剛樹, 林 淳一郎, 鳥山 陽子, 松尾 圭祐, 江崎 瞳

鹿児島医療センター

P-150 緩和ケア病棟における抗凝固薬の使用状況調査と安全性の評価

○光田 恵里香, 土屋 裕伴, 沖田 彩, 諸橋 賢人, 新井 亘, 増田 裕一

AMG 上尾中央総合病院

P-151 神経障害性疼痛に対する methadone の脊髄鎮痛作用

○善積 克, 角 貴祐, 渡辺 千寿子, 櫻田 忍, 溝口 広一
東北医科薬科大学薬学部 機能形態学教室

P-152 炎症性疼痛下における morphine の鎮痛作用減弱機構

○溝口 広一, 青木 祐太, 渡辺 千寿子, 善積 克, 櫻田 忍
東北医科薬科大学薬学部 機能形態学教室

P-153 モルヒネ誘発鎮痛効果ならびに鎮痛耐性形成に対する interleukin-31 の併用効果

○宮川 和也¹⁾, 新井 巖^{1,2)}, 辻 稔¹⁾, 宮岸 寛子¹⁾, 持田(齋藤) 淳美¹⁾, 黒川 和宏¹⁾,
秋山 暢丈²⁾, 齋藤 三郎²⁾, 武田 弘志¹⁾
国際医療福祉大学薬学部 薬理学分野¹⁾,
東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 分子免疫学研究部²⁾

P-154 2, 4, 6- トリニトロクロロベンゼン誘発疼痛モデルマウスにおける非ステロイド性抗炎症薬と interleukin-31 の併用効果

○辻 稔¹⁾, 新井 巖^{1,2)}, 宮川 和也¹⁾, 宮岸 寛子¹⁾, 持田(齋藤) 淳美¹⁾, 黒川 和宏¹⁾,
秋山 暢丈²⁾, 齋藤 三郎²⁾, 武田 弘志¹⁾
国際医療福祉大学薬学部 薬理学分野¹⁾,
東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 分子免疫学研究部²⁾

P-155 初代培養神経細胞における corticosterone 暴露後の BDNF 発現変化

○徳山 尚吾, 相澤 風花, 樋口 仁美, 中本 賀寿夫
神戸学院大学薬学部 臨床薬学

P-156 神経障害性疼痛モデルラットにおける Neat1 長鎖非コード RNA の発現抑制は疼痛を緩和させる

○坂井 敦¹⁾, 丸山 基世^{1,2)}, 片山 映³⁾, 岡田 尚巳⁴⁾, 鈴木 秀典¹⁾
日本医科大学 薬理学¹⁾, 日本医科大学 実験動物管理室²⁾, 日本医科大学 代謝栄養学³⁾,
日本医科大学 分子遺伝医学⁴⁾

P-157 シスプラチン誘発疲労モデルマウスに対するグルコースならびにカフェインの影響

○那須 遥¹⁾, 石井 和樹¹⁾, 黒野 瑠佳¹⁾, 山根 碧衣¹⁾, 鈴木 秀隆^{1,2)}, 吉澤 一巳¹⁾
東京理科大学薬学部 疾患薬理学研究室¹⁾, 国立がん研究センター東病院 薬剤部²⁾

P-158 炎症性および神経障害性疼痛モデルマウスを用いた δ -オピオイド受容体作動薬 KNT-127 の評価

○藤田 あゆみ¹⁾, 鈴木 幸奈¹⁾, 佐藤 遥¹⁾, 新井 成牧¹⁾, 山田 大輔²⁾, 長瀬 博³⁾, 齋藤 顕宜²⁾,
吉澤 一巳¹⁾
東京理科大学薬学部 疾患薬理学研究室¹⁾, 東京理科大学薬学部 薬理学分野²⁾,
筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 創薬化学研究室³⁾

P-159 δ オピオイド受容体を介したマウス大脳皮質興奮性シナプス伝達の抑制性修飾

○山田 大輔¹⁾, 岡 淳一郎¹⁾, 長瀬 博²⁾, 齋藤 顕宜¹⁾
東京理科大 薬・薬理¹⁾, 筑波大睡眠研究機構²⁾

P-160 幼少期の社会的孤立に伴う認知および情動障害に対する大豆ペプチドの“緩和効果”○田村 英紀¹⁾, 宮崎 晶子²⁾, 川村 高史²⁾, 成田 年^{1,2)}星薬科大学 先端生命科学研究センター¹⁾, 星薬科大学 薬理学研究室²⁾**P-161 炎症性疼痛制御における methadone の特異的作用**

○渡辺 千寿子, 込山 麻美, 善積 克, 櫻田 忍, 溝口 広一

東北医科薬科大学薬学部 機能形態学教室

P-162 転移性乳がん細胞とアストロサイトの代謝変化を介する相互作用○佐藤 洋美¹⁾, 清水 彩花¹⁾, 原 来実¹⁾, 宇津 美秋²⁾, 樋坂 章博¹⁾千葉大学大学院 薬学研究院 臨床薬理学¹⁾, 国立がん研究センター・がん患者病態生理研究分野²⁾**P-163 プロテアーゼ活性化受容体 PAR2 の遺伝子多型と冷水刺激誘発性疼痛感受性の関連**○添田 萌^{1,2)}, 大岡 静衣¹⁾, 西澤 大輔¹⁾, 須野 学³⁾, 福田 謙一²⁾, 一戸 達也⁴⁾, 池田 和隆¹⁾公益財団法人東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト¹⁾,東京歯科大学 口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室²⁾,岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科³⁾, 東京歯科大学 歯科麻酔学講座⁴⁾**P-164 ラット脊髄スライスを用いた鎮痛補助薬の電気生理学的作用機序解析**○御領 憲治^{1,2)}, 伊達 明利^{1,2)}, 川津 猛¹⁾, 宮野 貴士¹⁾, 入江 雅彦¹⁾, 伊藤 祐介¹⁾,
加門 淳司¹⁾, 古江 秀昌²⁾日産化学株式会社¹⁾, 兵庫医科大学²⁾**P-165 ノルアドレナリンやセロトニンを介した鎮痛機構の解析**

○古江 秀昌, 御領 憲治

兵庫医科大学 神経生理

P-166 高用量モルヒネにアセトアミノフェン併用が有効であった一例○深津 昌弘¹⁾, 高島 直樹¹⁾, 郷治 久美¹⁾, 岩津 慎次郎¹⁾, 伊藤 聡一郎¹⁾, 鷹見 繁宏¹⁾,
佐竹 美芽²⁾, 黒岩 正憲²⁾, 澤田 憲朗³⁾公立陶生病院 医療技術局薬剤部¹⁾, 公立陶生病院 消化器内科²⁾, 公立陶生病院 緩和ケア内科³⁾**P-167 タベンタドールおよびトラマドール投与により良好な疼痛コントロールが得られた脳腫瘍終末期患者の1例**○代田 礼子^{1,2,3,4)}, 山田 武志²⁾, 小林 澄雄³⁾, 新宮 聖士⁴⁾, 高野 耕一郎¹⁾, 杉本 恵実¹⁾飯田市立病院 薬剤科¹⁾, 飯田市立病院 緩和ケア内科²⁾, 飯田市立病院 脳神経外科³⁾,飯田市立病院 乳腺外科⁴⁾**P-168 当院におけるオピオイド使用状況の調査及びオピオイド製剤の新たな剤型・規格の必要性に対する検討**

○小林 義典, 川口 洋実, 勝又 一雄, 北村 修

富士宮市立病院

P-169 オキシコドン徐放錠（乱用防止製剤）のゲル状残渣が回腸人工肛門に滞留し閉塞の危険性があった胃癌の一症例○岩本 なおみ^{1,2)}, 岡本 夏実^{1,2)}, 原 一樹¹⁾, 前田 あけみ³⁾, 前川 礼子^{2,3)}, 洲脇 純三¹⁾,
川上 恭弘¹⁾, 石原 辰彦^{2,4)}岡山済生会総合病院 薬剤科¹⁾, 岡山済生会総合病院 緩和ケアチーム²⁾, 岡山済生会総合病院 看護部³⁾,岡山済生会総合病院 緩和ケア科⁴⁾

P-170 フェンタニルクエン酸塩舌下錠の使用状況調査と適正使用に関する取り組み

○和仁 昇^{1,2)}, 若田 達朗^{1,2)}, 上田 秀親¹⁾, 洞口 拓也¹⁾, 田中 知代¹⁾, 嶋 俊弥¹⁾,
高橋 麻衣子¹⁾, 和田 泰明¹⁾, 中洞 純子²⁾, 今井 奨²⁾, 浮田 雅人²⁾
高山赤十字病院 薬剤部¹⁾, 高山赤十字病院 緩和ケアチーム²⁾

P-171 当院におけるフェンタニル貼付剤 1 日製剤の半面貼付に関する実態調査

○西 俊明, 権 哲, 北野 香苗, 赤澤 昌代, 今井 伸也, 白井 雅博, 武田 啓子, 雲 望美,
山極 恒平, 豊田 卓巳, 石合 徹也
済生会滋賀県病院

P-172 低用量フェンタニル貼付剤の使用経験

○橋本 百世¹⁾, 田中 育子¹⁾, 松田 良信²⁾, 加治佐 直子³⁾, 仁木 一順⁴⁾, 岡本 禎晃¹⁾
市立芦屋病院 薬剤科¹⁾, 市立芦屋病院 緩和ケア内科²⁾, 市立芦屋病院 看護科³⁾,
大阪大学大学院 薬学研究科医療薬学分野⁴⁾

P-173 メサドンのスイッチングに関する一考察

○嶽小原 恵^{1,2)}, 谷澤 久美^{2,3)}, 池永 昌之^{2,4)}
淀川キリスト教病院 薬剤部¹⁾, 淀川キリスト教病院 緩和ケアチーム²⁾, 淀川キリスト教病院 看護部³⁾,
淀川キリスト教病院 緩和医療内科⁴⁾

P-174 高用量のオピオイドからメサドンへスイッチングした一例

○杉本 恵実¹⁾, 高野 耕一郎¹⁾, 佐藤 誠一¹⁾, 代田 礼子¹⁾, 吉澤 忍¹⁾, 山田 武志²⁾
飯田市立病院 薬剤科¹⁾, 飯田市立病院 緩和ケア内科²⁾

P-175 当院におけるメサドンへのスイッチングに関する調査

○山極 恒平, 権 哲, 北野 香苗, 赤澤 昌代, 今井 伸也, 白井 雅博, 武田 啓子, 雲 望美,
西 俊明, 石合 徹也
済生会滋賀県病院

P-176 メサドン導入 15 症例の検討～適応症例へのスムーズな導入を目指して～

○宮武 望¹⁾, 長谷川 喜一^{1,2)}, 岩谷 理佳子^{1,3)}, 岡田 芙美子^{1,3)}, 大田 隆代²⁾, 中野 雄介²⁾,
寺嶋 応顕²⁾, 佃 博²⁾, 福岡 正博²⁾
和泉市立総合医療センター 緩和ケアチーム¹⁾, 和泉市立総合医療センター 腫瘍内科²⁾,
和泉市立総合医療センター 看護部³⁾

P-177 当院におけるメサドン導入方法の検討

○福井 美保, 岩田 光高, 谷口 美智恵, 清水 友香理, 木下 愛子, 池野 武志, 大野 ひかる,
宮本 祐子, 豊田 直子, 雪岡 美穂子
尼崎医療生協病院

P-178 メサドンが内服困難となり他のオピオイド鎮痛薬への切り替えに苦慮した一症例

○佐久間 裕太¹⁾, 早乙女 浩之¹⁾, 白石 童子¹⁾, 福地 祐司^{1,2)}, 竹下 光弘¹⁾
公益財団法人ときわ会 常磐病院¹⁾, いわき明星大学²⁾

P-179 メサドン塩酸塩錠とオキシコドン塩酸塩水和物徐放錠の併用療法で疼痛コントロール良好となり、短期間に退院できた一症例について

○佐藤 良太¹⁾, 崎元 雄彦²⁾
丸木記念福祉メディカルセンター 薬局¹⁾, 丸木記念福祉メディカルセンター 緩和ケア内科²⁾

P-180 ヒドロモルフォン塩酸塩注の使用状況と安全性評価

○御澤 勝将¹⁾, 榎本 弘美¹⁾, 板垣 文雄^{1,2)}, 安野 伸浩^{1,2)}
 帝京大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 帝京大学薬学部²⁾

P-181 当院におけるヒドロモルフォンの使用状況について

○山下 剛史郎, 松浦 知博, 鶴田 和樹, 鷺巣 佳子, 廣瀬 孝一, 金田 典子, 田中 恵美子,
 浅井 茂夫
 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院

P-182 当院におけるヒドロモルフォン注射液の使用状況

○川合 正矩, 栗島 彬, 原田 沙織
 東京新宿メディカルセンター

P-183 当院におけるヒドロモルフォンの適正使用に向けた使用状況調査

○片岡 佑真, 渡部 裕之, 辰 美佳, 岡野 新, 上り口 誠, 田中 雅子, 見上 千昭, 本間 久美子,
 西尾 孝, 辻本 勉
 兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部

P-184 当院におけるヒドロモルフォン塩酸塩の使用状況

○鈴木 利規, 柳沼 妙子, 西井 玲奈, 杉浦 貴哉, 石川 元章
 豊橋市民病院

P-185 ヒドロモルフォンへのスイッチングの実態調査

○吉井 由比子, 桐井 美由紀, 小出 久仁子, 峠 正義, 竹川 茂
 富山県立中央病院

P-186 腎機能障害患者へのヒドロモルフォンの使用経験

○奥田 真由美^{1,4)}, 折井 修子^{2,4)}, 中村 典明^{3,4)}
 秀和総合病院 薬剤部¹⁾, 秀和総合病院 看護部²⁾, 秀和総合病院 外科³⁾, 秀和総合病院 緩和ケアチーム⁴⁾

P-187 新薬ヒドロモルフォン注射剤発売前後での使用頻度から見た使い分けを通しての各オピオイド注射剤の使い勝手

○小尾 芳郎¹⁾, 鈴木 友宜¹⁾, 上田 順子²⁾, 中川 幸子²⁾, 大坪 千智²⁾, 渡辺 美里³⁾, 宮崎 百合³⁾
 横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケア内科¹⁾, 横浜市立みなと赤十字病院 看護部²⁾,
 横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部³⁾

P-188 オピオイドスイッチングによる疼痛改善とオランザピン服薬遵守による嘔気改善が見られた一症例

○船山 将栄¹⁾, 内藤 裕之¹⁾, 水野 智弥²⁾, 佐藤 学¹⁾, 中丸 朗¹⁾
 那須赤十字病院 薬剤部¹⁾, 那須赤十字病院 泌尿器科²⁾

P-189 がん患者に対する opioid switching の実態調査：単施設後方視的研究

○櫻井 愛菜^{1,3)}, 山本 泰大^{1,3)}, 出口 裕子^{1,3)}, 平野 茂樹^{1,3)}, 近藤 綾子^{1,3)}, 公文 章子³⁾,
 浅井 泰行^{2,3)}, 小田切 拓也^{2,3)}, 渡邊 紘章^{2,3)}
 小牧市民病院 薬局¹⁾, 小牧市民病院 緩和ケア科²⁾, 小牧市民病院 緩和ケアチーム³⁾

P-190 大腸がん骨転移患者の神経因性疼痛に対しリドカインテープが症状緩和に寄与したと思われる一症例

○山崎 令子
 医療法人慶友会 守谷慶友病院

P-191 口腔がん患者の頭痛にプレガバリンが有効であった一症例

○牧田 久美子¹⁾, 小林 英文¹⁾, 富岡 寛文²⁾, 島本 裕彰²⁾, 舟橋 佳世³⁾, 西村 はるみ³⁾,
本松 裕子⁴⁾, 三宅 智⁴⁾, 原田 浩之²⁾

東京医科歯科大学歯学部附属病院 薬剤部¹⁾, 東京医科歯科大学歯学部附属病院 口腔外科²⁾,
東京医科歯科大学歯学部附属病院 看護部³⁾, 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター⁴⁾

P-192 がんによる神経障害性疼痛に対するデュロキセチンの有効性

○高野 耕一郎, 代田 礼子, 杉本 恵実

飯田市立病院

P-193 整形外科領域におけるデュロキセチンの使用調査

○足立 茂樹, 長沼 美里, 一川 悦子

JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院

**P-194 回復期リハビリテーション病棟における疼痛管理
～中枢性脳卒中後疼痛を起点としエチゾラム依存となった症例を経験して～**

○松波 寿雄, 枝廣 茂樹, 大川 浩子

金沢赤十字病院 薬剤部

**P-195 医療者との対人葛藤を起因とした術後遷延痛に心理士の介入を含めた集学的治療が有用
となった一例**

○村上 安壽子, 原 厚子, 井関 雅子

順天堂大学医学部附属麻酔科学・ペインクリニック講座

P-196 高用量オピオイド投与中に対する患者にケタミン追加投与による鎮痛の有効性

○佐久間 詠理^{1,2)}, 行田 泰明²⁾, 川内 潤也¹⁾, 片山 寿希²⁾, 渡邊 淳子¹⁾

医療法人社団淳友会 わたクリニック¹⁾, 医療法人社団淳友会 わたクリニック船堀²⁾

P-197 肺癌患者における長期間のオピオイド鎮痛薬投与より離脱出来た 2 症例

○小西 千尋¹⁾, 松浦 暢子¹⁾, 里岡 達哉¹⁾, 青山 瑛里子¹⁾, 山田 直輝¹⁾, 大里 恭章¹⁾, 洪 鉉寿²⁾

八尾徳洲会総合病院 薬剤部¹⁾, 八尾徳洲会総合病院 腫瘍内科²⁾

P-198 透析患者のオピオイド選択と疼痛コントロールの 1 例

○相澤 康子^{1,2)}, 新倉 菊代²⁾

横須賀市立市民病院 薬剤部¹⁾, 横須賀市立市民病院 緩和ケアチーム²⁾

P-199 腎機能・肝機能障害患者のオピオイドの投与量と副作用の検討

○内山 弘子, 伊部 聡子, 小酒井 仁美, カワセ 彩, 関口 愛, 伊東 冴栄, 河井 良智

関東労災病院

P-200 終末期がん患者におけるプレガバリンの役割と投与継続可能な剤形の基礎的研究

○矢島 領^{1,2)}, 伊勢 雄也¹⁾, 松元 一明²⁾, 木津 純子³⁾, 片山 志郎¹⁾

日本医科大学付属病院 薬剤部¹⁾, 慶應義塾大学薬学部 薬効解析学講座²⁾,
特定非営利活動法人 薬学共用試験センター³⁾

P-201 予測できず誘因のない突出痛の原因解明を目指した探索的後ろ向きコホート研究

○仁木 一順^{1,2)}, 岡本 禎晃²⁾, 大野 心¹⁾, 西本 哲郎³⁾, 田中 育子²⁾, 上田 幹子¹⁾, 上島 悦子¹⁾

大阪大学大学院 薬学研究科 医療薬学分野¹⁾, 市立芦屋病院 薬剤科²⁾, 市立芦屋病院 血液・腫瘍内科³⁾

- P-202 お薬手帳を活用した服薬状況確認の取り組み 「痛みのチェックシート」を利用して**
○石原 直子, 三浦 真理, 鯨 明美, 高澤 麻美, 丹羽 直人
一般財団法人 霞ヶ浦成人病研究事業団 霞ヶ浦薬剤センター薬局
- P-203 終末期に低栄養投与量で疼痛コントロールと QOL を維持できた一例**
○吉田 芙美, 梅下 翔, 鍛冶 保奈実, 今井 富紀子, 中野 智尋, 河原 昌美
金沢市立病院
- P-204 がんに伴う苦痛の緩和を目的としてオピオイドが開始された患者の、当院における便秘対策状況の調査**
○小嶋 薫, 岩崎 好太郎, 石原 享子, 藤井 友紀子, 加藤 幸三, 島村 圭二
千葉メディカルセンター
- P-205 入院患者におけるルビプロストンの胃腸系有害事象に影響を与える因子の検討
～オピオイドの使用状況を含めて～**
○土田 隼之祐, 平田 一耕, 橋沢 幸佑, 舟越 亮寛
亀田総合病院
- P-206 オキシコドン徐放錠およびフェンタニルテープ使用患者における便秘に関する調査**
○八城 学, 井上 朋彦, 相澤 政明
相模台病院
- P-207 ナルデメジン投与に伴う疼痛悪化が示唆された 1 例**
○脇田 雅子¹⁾, 森 亮太²⁾, 菊川 佳代³⁾
ませ調剤薬局¹⁾, 医療法人 八事の森杉浦医院²⁾, ピース訪問看護ステーション瑞穂³⁾
- P-208 ナルデメジンの有効性調査**
○徳山 洋子¹⁾, 岡野 博之²⁾, 河端 秀明³⁾, 山本 芳樹⁴⁾, 清水 義博⁴⁾
社会医療法人岡本病院財団法人 京都岡本記念病院 薬剤部¹⁾,
社会医療法人岡本病院財団法人 京都岡本記念病院 耳鼻咽喉科²⁾,
社会医療法人岡本病院財団法人 京都岡本記念病院 消化器内科³⁾,
社会医療法人岡本病院財団法人 京都岡本記念病院 消化器外科⁴⁾
- P-209 当院におけるナルデメジン使用状況調査から考察する継続投与に影響を及ぼす因子とそこから考えられる適正使用に関する検討**
○北庄司 敦久, 中川 貴弘, 若林 里絵, 西井 拓人, 森朝 紀文
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤科
- P-210 当院におけるナルデメジンの使用状況調査**
○金澤 京子¹⁾, 高須 真希²⁾, 門田 みどり²⁾, 土方 誠²⁾, 三輪 征広¹⁾, 秋山 清次³⁾
済衆館病院 薬剤科¹⁾, 済衆館病院 看護部²⁾, 済衆館病院 緩和ケア科³⁾
- P-211 ナルデメジントシル酸の効果とオキシコドン投与期間・投与量との関係についての探索的研究**
○小澤 康久¹⁾, 下山 ライ²⁾, 中村 雅敏¹⁾
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 薬剤部¹⁾, 医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 外科²⁾
- P-212 後期高齢者におけるナルデメジンの使用調査**
○江藤 壮志, 渋谷 文則, 小松 春佳, 高橋 信, 山村 康比古
多摩北部医療センター

- P-213 当院におけるオピオイド誘発性便秘症に対するナルデメジントシル酸塩錠の使用状況調査**
○中西 晶子¹⁾, 村山 洋子¹⁾, 小角 麻衣¹⁾, 名徳 倫明²⁾
市立池田病院 薬剤部¹⁾, 大阪大谷大学薬学部 薬学科 実践医療薬学講座²⁾
- P-214 ナルデメジン使用開始時期の差が排便状況改善に及ぼす影響**
○森島 史佳, 光家 勉, 年永 祥代, 上田 豊実, 富田 国男
日本赤十字社 大津赤十字病院
- P-215 当院におけるナルデメジントシル酸塩錠の使用実績調査**
○佐野 篤
社会医療法人同仁会 耳原総合病院
- P-216 悪心・嘔吐経験後における制吐剤変更は有用か？**
○橋本 直弥¹⁾, 秋山 理恵^{1,2)}, 佐藤 由美^{1,3)}, 立松 三千子^{1,4)}, 梶田 正樹¹⁾
愛知県がんセンター 薬剤部¹⁾, 三聖堂薬局 自由が丘店²⁾, めいてつ調剤薬局 本店³⁾, 名城大学大学院 薬学研究科⁴⁾
- P-217 当院肺癌カルボプラチン併用化学療法に対する悪心・嘔吐の評価**
○上杉 章紀, 高部 江理奈, 羽田野 翔太, 吉田 孝, 木内 貴章, 水野 奈穂子, 加藤 良治
JR 東京総合病院
- P-218 がん化学療法時の口腔粘膜炎に対する薬剤師の介入状況調査**
○島田 泉, 吉田 謙介, 田中 雄介, 鈴木 直人, 外山 聡
新潟大学医歯学総合病院
- P-219 カペシタビンによる手足皮膚反応の予測因子—抗コリン薬は予防因子となるか？**
○神林 祐子^{1,2,3)}, 田口 哲也^{2,3)}, 田淵 祐輔²⁾, 吉岡 とも子²⁾, 石川 剛²⁾, 高山 浩一²⁾, 大辻 英吾⁴⁾
大阪薬科大学 臨床実践薬学教育研究室¹⁾, 京都府立医科大学附属病院 化学療法部²⁾, 京都府立医科大学附属病院 内分泌・乳腺外科³⁾, 京都府立医科大学附属病院 消化器外科⁴⁾
- P-220 AC 療法施行中の妊娠中乳がん患者への保険薬局薬剤師としての介入**
○宮澤 由梨, 田橋 美佳
薬樹薬局 三ツ沢
- P-221 アバマシクリブ使用患者における使用状況調査と副作用発現に関する検討**
○藤田 菜緒, 廣瀬 和昭, 高屋敷 奈々, 後藤 敏也, 正木 銀三
磐田市立総合病院
- P-222 病棟薬剤師の関わりが契機となり、多職種で連携することで薬物療法では改善されなかった症状を改善することができた症例**
○栗原 りか, 新行内 健一, 蟻川 勝, 棚橋 美文
国立病院機構 渋川医療センター
- P-223 乳癌患者に対するモーズ軟膏の使用方法の評価**
○中島 優子, 黒川 俊光, 加納 亜由子, 野澤 彰
上都賀総合病院
- P-224 がん性皮膚潰瘍の臭気の軽減・止血のためメトロニダゾールゲルとモーズ軟膏を併用した症例**
○黒田 秀之
みたき総合病院 薬剤部

P-225 オクトレオチドの使用状況調査と有効性の検討

○伊墻 美幸, 濱田 友絵, 西村 健二, 有澤 礼子, 赤木 晋介, 高柳 和伸
倉敷中央病院 薬剤部

P-226 当院におけるクエチアピンの使用状況とせん妄ハイリスク患者への使用の検討

○吉野 登志子
医療法人ガラシア会 ガラシア病院

P-227 せん妄に対する系統的薬学的介入の実際とその効果

○松岡 秀和^{1,2)}, 関根 佳代¹⁾, 武田 英樹³⁾, 木内 直美¹⁾, 大谷 美子¹⁾
千葉県がんセンター 薬剤部¹⁾, 千葉県がんセンター 緩和ケアセンター²⁾,
千葉県がんセンター 医療の質・安全管理部³⁾

P-228 がん終末期患者に対して睡眠目的で使用される抗精神病薬の有効性及び安全性の評価

○諸橋 賢人, 土屋 裕伴, 沖田 彩, 光田 恵里香, 新井 亘, 増田 裕一
AMG 上尾中央総合病院

P-229 単身生活が困難で精神科病院に入院した乳がん患者の 1 症例～抗不安・睡眠薬処方を中心に～

○加藤 剛^{1,2)}, 宗像 彩香¹⁾, 澤口 真紀¹⁾, 山本 大介²⁾, 鈴木 順子²⁾
所沢慈光病院¹⁾, 北里大学薬学部 社会薬学部門²⁾

P-230 身体症状症患者に舌がん、腭がんが発症し症状コントロールに苦慮した 1 症例

○村山 貴子, 小田 麻衣子, 勝山 里佳, 大箭 彰
新潟県立新発田病院 薬剤部

P-231 身体的苦痛を増強させていた要因の検討～トータルペインの視点から～

○山崎 由香¹⁾, 炭谷 真由美²⁾, 長久 栄子³⁾
真生会富山病院 薬剤科¹⁾, 真生会富山病院 看護部²⁾, 真生会富山病院 緩和ケア内科³⁾

P-232 亜鉛華デンプンからモーズ軟膏への切り替え症例

○安部 一秀¹⁾, 浅木 弘子²⁾, 佐藤 和則³⁾
一般財団法人 太田熱海病院 薬剤部¹⁾, 一般財団法人 太田熱海病院 皮膚科²⁾,
一般社団法人 太田西ノ内病院 耳鼻科³⁾

P-233 化学療法、放射線治療が原因でないがん患者の悪心・嘔吐に対するオランザピンの使用実態調査

○富士 芳美, 植田 有希, 友井 理恵子, 木村 貴, 木澤 成美, 望月 千枝
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター

P-234 薬剤師による化学療法マネジメントにより患者の苦痛増強が回避できた一例

○濱中 悠賀, 有泉 牧人, 村上 明男, 小尾 正人, 樋口 順一
国立病院機構 西新潟中央病院薬剤部

P-235 ヒドロモルフォン塩酸塩錠の使用により再発乳がんの肺転移による呼吸困難感、咳嗽が緩和できた 1 例

○末吉 真樹, 大平 勇二, 大井 初江, 齋藤 宏明, 保里 恵一
JA 愛知厚生連 知多厚生病院

P-236 終末期がん患者にミダゾラムを用いた持続的鎮静開始後の評価○杉浦 龍也^{1,2)}, 守田 覚²⁾, 守山 浩子^{1,3)}, 岡田 祐二^{1,4)}JA三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 緩和委員会¹⁾,
JA三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 薬剤部²⁾,
JA三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 看護部³⁾,
JA三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 外科⁴⁾**P-237 ケミカルコーピングが疑われる患者に対応した一症例**○高橋 彩, 若林 厚史, 辻 依利, 田畑 寛明, 猿谷 淳, 向 一美, 地野 幹子
国家公務員共済組合連合会 北陸病院**P-238 コントロール不良の悪心嘔吐に使用したオランザピンにより血糖値が著明に上昇した 1 例**○石野 愛弓
耳原総合病院**P-239 ケミカルコーピングの可能性がある終末期在宅がん患者への対応で苦慮した症例**○亀田 祥代, 高橋 正志
株式会社マスカット薬局**P-240 心不全緩和ケアに薬剤師はどう介入するか？
～適正な導入時期、導入投与量を模索した症例からの考察～**○枝廣 茂樹, 松波 寿雄, 大川 浩子
金沢赤十字病院**P-241 進行がん患者における死亡直前期の呼吸困難に対するオキシコドン使用量**○山本 泰大^{1,4)}, 出口 裕子^{1,4)}, 平野 茂樹^{1,4)}, 近藤 綾子^{1,4)}, 櫻井 愛菜^{1,4)}, 公文 章子^{2,4)},
浅井 泰行^{3,4)}, 小田切 拓也^{3,4)}, 渡邊 紘章^{3,4)}
小牧市民病院 薬局¹⁾, 小牧市民病院 看護局²⁾, 小牧市民病院 緩和ケア科³⁾,
小牧市民病院 緩和ケアチーム⁴⁾**P-242 TPN とオピオイド管理が問題となり在宅移行に難渋した一症例**○西澤 さとみ, 滝澤 康志
飯山赤十字病院**P-243 全人的ケアについて考える 低血糖が頻発するすい臓がん全摘患者へのアプローチ**○時任 しづか¹⁾, 賦句 智広¹⁾, 土増 聡²⁾, 福田 正剛³⁾, 横田 真理子⁴⁾, 酒井 真弓¹⁾, 和田 敦¹⁾,
颯谷 啓子¹⁾, 三田村 しのぶ⁵⁾, 小西 麗子⁵⁾, 安原 智久⁵⁾
福田総合病院 薬剤科¹⁾, 福田総合病院 外科²⁾, 福田総合病院 整形外科³⁾, 福田総合病院 栄養科⁴⁾,
摂南大学薬学部⁵⁾**P-244 当院における強オピオイド選択のフローチャートと導入パスの作成**○多鹿 優佳里¹⁾, 小林 宗仁¹⁾, 松本 憲幸¹⁾, 木村 祥子²⁾, 藤本 有紀³⁾, 橋本 かおり³⁾,
岸本 光正¹⁾, 小林 祐里江¹⁾
西脇市立西脇病院 薬剤部¹⁾, 西脇市立西脇病院 内科²⁾, 西脇市立西脇病院 看護局³⁾**P-245 病棟内で組織された緩和ケアチームと診療医が連携し速やかな症状緩和に至った末期がん患者の一例**○栗原 弘紀¹⁾, 芳澤 朋大¹⁾, 野口 哲²⁾, 島崎 洋平¹⁾, 鈴木 善樹¹⁾, 中元 秀友²⁾, 岸野 亨¹⁾
埼玉医科大学病院 薬剤部¹⁾, 埼玉医科大学病院 総合診療内科²⁾

P-246 在宅看取りを希望した緩和ケア病棟入院患者へのサポート

○伊藤 慎二, 石川 敬祐, 磯貝 潤一, 小林 沙矢香
津島市民病院

P-247 緩和ケアチームが介入した心不全症例 3 例と今後の課題

○鈴木 滯^{1,5)}, 山口 文子^{1,5)}, 佐々木 美理^{1,5)}, 舟木 ひかる^{1,5)}, 山崎 幸子^{2,5)}, 江原 晶子^{3,5)},
木村 尚子^{4,5)}, 嶋中 ますみ^{2,5)}, 佐藤 透¹⁾, 土井 千春^{4,5)}
済生会横浜市南部病院 薬剤部¹⁾, 済生会横浜市南部病院 看護部²⁾,
済生会横浜市南部病院 福祉医療相談室³⁾, 済生会横浜市南部病院 緩和医療科⁴⁾,
済生会横浜市南部病院 緩和ケアチーム⁵⁾

P-248 緩和ケアチーム (PCT) 薬剤師の役割～薬剤師による意思決定支援介入事例を通して～

○森井 博朗¹⁾, 長谷川 千晶¹⁾, 西川 誠人²⁾, 服部 聖子²⁾, 醍醐 弥太郎³⁾, 星野 伸夫¹⁾,
寺田 智祐¹⁾
滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾, 滋賀医科大学医学部附属病院 看護部²⁾,
滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター³⁾

P-249 終末期心不全患者に対する緩和ケア ～緩和ケアチームと心不全チームの連携により抗うつ薬の投与回避ができた 1 例～

○勝田 雄太¹⁾, 美馬 朱美¹⁾, 勝 綾香¹⁾, 中藺 健一¹⁾, 田代 千香²⁾, 渡邊 高志³⁾, 笠原 みづほ⁴⁾,
松崎 貴志¹⁾
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部¹⁾, 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 看護部²⁾,
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 神経精神科³⁾,
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 循環器内科⁴⁾

P-250 緩和ケアチーム専任薬剤師と病棟担当薬剤師の連携に関する意識調査

○津野 丈彦¹⁾, 竹野 伸洋²⁾, 瀧口 友美²⁾, 橋本 真也¹⁾, 濱 敏弘²⁾
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部¹⁾,
公益財団法人がん研究会 有明病院 薬剤部²⁾

P-251 急性期病院における精神科病棟入院患者に対する緩和ケアチーム介入の一症例と意義

○宮崎 百合^{1,2)}, 吉川 康彦¹⁾, 上田 順子^{2,5)}, 中川 幸枝^{2,5)}, 渡辺 美里¹⁾, 山邊 義彬⁴⁾,
京野 穂集^{2,4)}, 鈴木 友宜^{2,3)}, 井口 恵美子¹⁾, 猪股 克彦¹⁾, 小尾 芳郎^{2,3)}
横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部¹⁾, 横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケアチーム²⁾,
横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケア内科³⁾, 横浜市立みなと赤十字病院 精神科⁴⁾,
横浜市立みなと赤十字病院 看護部⁵⁾

P-252 外来患者の処方変更に病院薬剤師が関与しシームレスな緩和ケアを実践できた一例

○今中 智子¹⁾, 青木 智佳子¹⁾, 岩瀬 哲²⁾, 鈴木 佳寿子¹⁾
社会福祉法人聖母会 聖母病院¹⁾, 埼玉医科大学病院 緩和医療科²⁾

P-253 保険薬局における麻薬管理指導の有用性

○山中 幸典, 中西 倫子, 栢原 伊都子, 足立 智子, 岩尾 隆志
イワオ薬局 日赤前ミタス伊勢店

P-254 外来での緩和領域における双方向トレーシングレポート導入の取り組み

○東 碧, 久光 絢菜, 武田 智子, 長谷川 晃司
京都中部総合医療センター 薬剤部

P-255 薬局薬剤師によるオピオイド使用患者に対するテレフォンプォローアップの取り組み

○衣笠 花織, 村田 勇人, 菅 美佳, 松本 このみ, 安藤 奈央子, 丹原 由希, 村上 恵一
クオール薬局 港北店

P-256 緩和ケア外来における薬剤師の取り組み

○寛 久仁子, 宮本 理英子, 宮本 雅彦, 濱中 裕子
公益財団法人 浅香山病院

**P-257 保険薬局から見た終末期在宅緩和ケアにおける薬業連携、地域連携
～顔の見える関係から意見の言えるチームへの一症例～**

○加藤 久勝¹⁾, 鈴木 広行¹⁾, 菊池 紀夫²⁾, 英 香代子³⁾, 神子 晴美⁴⁾, 大木 千恵子⁵⁾,
稲葉 幸代⁶⁾, 糸日 洋子⁶⁾
毎日薬局 地域連携室¹⁾, 匝瑳市民病院 外科²⁾, 匝瑳市民病院 訪問看護ステーションつばきの里³⁾,
匝瑳市民病院 薬剤科⁴⁾, 匝瑳市民病院 医療連携室⁵⁾, ニチイケアセンター八日市場⁶⁾

P-258 在宅緩和医療における Patient-Controlled Analgesia ポンプ使用への課題および研修会の有用性

○鳥井 小莉¹⁾, 山田 正実^{1,2)}, 地丸 裕美¹⁾, 松村 千佳子^{1,2)}, 高橋 一栄¹⁾
社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会野江病院 薬剤科¹⁾, 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター²⁾

**P-259 第1回 いわき地区におけるがん診療連携拠点病院の調剤薬局薬剤師研修会事業
～緩和ケア病棟薬剤師のかかわり～**

○荻野 訓秀¹⁾, 高木 俊輝¹⁾, 梶原 徹¹⁾, 上村 博子²⁾, 高橋 浩子¹⁾
福島労災病院 薬剤部¹⁾, 福島労災病院 看護部²⁾

P-260 在宅療養患者におけるフェンタニル貼付剤導入時点でのアルブミン値の調査

○天川 雅彦
社会福祉法人すずらん福祉会 すずらん診療所

P-261 オピオイドを中心とした緩和薬物療法の相談窓口の試み

○加藤 悠¹⁾, 関口 直子¹⁾, 松澤 佑姫¹⁾, 細川 泰博²⁾
さくら薬局¹⁾, クラフト²⁾

**P-262 医療介護専用 SNS を利用し多職種と患者家族で連携しながら在宅療養を希望する患者に
関わった 1 症例**

○三浦 千智, 猪野 早織, 安藤 義晃
コアラ薬局 前橋店

P-263 終末期患者の在宅訪問開始時における情報共有と介入について

○杉浦 聡, 高橋 正志
株式会社マスカット薬局

P-264 独居患者の終末期在宅ケア実現のために～緩和ケアチームと在宅ケアチームの協働～

○山崎 智世^{1,3)}, 藤本 和美^{2,3)}, 鎮目 晶子^{1,3)}, 飯嶋 歩^{1,3)}, 塩地 園代¹⁾
東京都保健医療公社大久保病院 薬剤科¹⁾, 東京都保健医療公社大久保病院 看護部²⁾,
東京都保健医療公社大久保病院 緩和ケアチーム³⁾

P-265 有料老人ホームにおいて初めての医療用麻薬の管理に関わった 1 例

○坂井 優香, 松山 理恵, 大川 恭代, 上津 貴子, 本田 美樹, 門間 美穂, 寺島 俊文
株式会社阪神調剤薬局 阪神センター店

P-266 在宅型有料老人ホームにおけるオピオイド持続皮下注の導入○島田 顕¹⁾, 堀江 修²⁾, 植原 幸子³⁾ガーデン薬局 中央店¹⁾, 伊勢原駅前クリニック²⁾, 看護クラーク伊勢原³⁾**P-267 在宅癌患者の薬剤多剤併用の現状**

○滝澤 康志, 西澤 さとみ

飯山赤十字病院

P-268 在宅緩和ケア薬剤師の可能性を考えるうえで現状の分析と検討○小林 篤史^{1,2)}, 武田 紗代子²⁾, 秋葉 由華²⁾, 松下 智侑²⁾, 杉山 正¹⁾岐阜薬科大学 在宅チーム医療薬学講座¹⁾, ゆうホールディングス²⁾**P-269 入院患者におけるレスキュー薬自己管理マニュアルの作成**

○河合 真依, 松浦 由喜

公益財団法人淀川勤労者厚生協会 附属西淀病院

P-270 当院での緩和ケアチームにおける薬剤師の介入調査○宇佐美 初雄¹⁾, 櫻井 英俊¹⁾, 野村 凌太¹⁾, 長崎 千帆子²⁾, 廣田 知之³⁾, 牧野 勇¹⁾JA 愛知厚生連 稲沢厚生病院 薬剤部¹⁾, JA 愛知厚生連 稲沢厚生病院 看護部²⁾,JA 愛知厚生連 稲沢厚生病院 精神科³⁾**P-271 免疫療法サポートチームの取り組みと免疫関連有害事象の検討**○勝山 里佳¹⁾, 粉川 直明¹⁾, 小田 麻衣子¹⁾, 村山 貴子¹⁾, 大箭 彰¹⁾, 山田 史子²⁾, 牧野 真人³⁾新潟県立新発田病院 薬剤部¹⁾, 新潟県立新発田病院 看護部²⁾, 新潟県立新発田病院 内科³⁾**P-272 緩和ケア病棟における薬剤師の病棟業務実施への取り組み**

○吉田 昌子, 三浦 愛美, 竹田 優作, 桜田 宏明, 山村 益己

一宮市立市民病院 薬剤局

P-273 中信がん薬薬連携勉強会における緩和ケア研修の評価○三浦 篤史^{1,2)}, 浅野 美代子¹⁾, 鬼窪 利英¹⁾, 大輪 武司¹⁾, 小野里 直彦¹⁾, 向山 百合¹⁾,
中村 久美¹⁾, 松澤 直樹¹⁾, 松原 重征¹⁾, 村田 稔弥¹⁾, 吉澤 貴代美¹⁾中信がん薬薬連携推進ワーキンググループ¹⁾, 相澤病院²⁾**P-274 緩和ケア病棟を持つ病院の薬剤師の役割～ニーズに合わせた勉強会の開催～**

○西村 明子, 荒木 優子, 中村 由紀, 弘津 理子, 中山 智恵, 加藤 史恵

医療法人社団医仁会 ふくやま病院薬剤科

P-275 がん患者会を対象とした、麻薬教育認定薬剤師による啓発活動の報告○藤原 洋一^{1,2)}今里コスモス薬局¹⁾, 東成区薬剤師会²⁾**P-276 実務実習事前実習における「医療用麻薬を拒否する患者」のロールプレイで見えてきた「患者心理」に関する報告**○増田 多加子¹⁾, 梶浦 幸歩²⁾, 比嘉 仁¹⁾, 国分 秀也¹⁾, 杉浦 宗敏¹⁾東京薬科大学薬学部¹⁾, 東邦大学医療センター大森病院²⁾**P-277 薬学実習生の緩和ケアに対する認識調査**

○大内 友季江, 安達 寛成, 佐藤 千穂, 番匠 理絵, 遠藤 武弘

一般財団法人光ヶ丘愛世会 光ヶ丘スペルマン病院

- P-278 中学生に対するがん教育の縦断的实施
- 中学 2 年生に「顕微鏡を使ってがん細胞を見てみよう」を実施して -**
- 田中 葉月¹⁾, 横山 郁子¹⁾, 藤本 佳昭²⁾, 堀部 里帆¹⁾, 森 夕理子¹⁾, 沼田 千賀子¹⁾
神戸薬科大学¹⁾, 神戸大学附属中等教育学校²⁾
-
- P-279 看護学生に対する麻薬・危険ドラッグの意識調査**
- 木村 真策
社会医療法人愛仁会 千船病院
-
- P-280 医療用麻薬に関する看護学生の認識度調査と薬剤師による教育効果の検討**
- 彦坂 麻美, 小山 一子, 滝 久司, 高木 亮
独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター
-
- P-281 薬局・病院連携ワールドカフェ方式緩和医療領域研究会開設とその質的アンケート報告
— 第 1 報 —**
- 伊東 俊雅^{1,2)}, 金子 健^{1,3)}, 葛巻 直子¹⁾, 佐久間 詠理¹⁾, 前田 桂吾¹⁾, 長久保 久仁子¹⁾,
岸田 悦子¹⁾, 加藤 あゆみ¹⁾, 塚本 麻利子¹⁾, 鈴木 勉^{1,4)}, 加賀谷 肇^{1,5)}
Tokyo Supportive Oncology Pharmacist Pain Board¹⁾,
東京女子医科大学東医療センター 薬剤部 / がん包括診療部²⁾, 慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター³⁾,
星薬科大学 薬物依存研究室⁴⁾, 一般社団法人 医薬品適正使用・乱用防止推進会議⁵⁾
-
- P-282 当院における 1 日型フェンタニル経皮吸収製剤の先発品と後発品の臨床効果の比較**
- 岩井 峻一, 畠山 朋樹, 稲 秀士, 石森 雅人
医療法人社団東光会 戸田中央総合病院 薬剤科
-
- P-283 緩和ケア病棟入院患者の持参薬と腎機能について**
- 石見 淳子, 森 睦, 有本 忍, 尾野 由佳子, 森 佳恵, 白木 幸子, 宮崎 千尋, 魚住 有沙美,
横野 祐未, 宮川 明宏, 山本 ひとみ
高砂市民病院
-
- P-284 緩和ケア病棟入院時持参薬における減薬調査**
- 殿垣 聖子, 柄川 知美, 今井 裕子, 清水 千種, 高寺 章代
医療法人協和会 千里中央病院 薬剤科
-
- P-285 緩和ケア病棟におけるポリファーマシー対策**
- 田中 育子¹⁾, 橋本 百世¹⁾, 松田 良信²⁾, 仁木 一順³⁾, 岡本 禎晃¹⁾
市立芦屋病院 薬剤科¹⁾, 市立芦屋病院 緩和ケア内科²⁾, 大阪大学 薬学研究科³⁾
-
- P-286 麻薬処方量の推移と影響する要因について**
- 菅野 奈緒美, 宍戸 琴美, 和泉 啓司郎, 鈴木 敦, 三川 武彦
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 薬剤部
-
- P-287 終末期がん患者の内服薬と予後への影響**
- 宮城 明実¹⁾, 清水 真弓¹⁾, 荒川 大輔¹⁾, 塚本 美加²⁾, 山本 圭祐¹⁾, 松川 陽央¹⁾, 笹野 知海¹⁾,
袴田 真理子¹⁾, 山崎 佳子³⁾, 山田 博英³⁾, 矢部 勝茂¹⁾
聖隷浜松病院 薬剤部¹⁾, 聖隷浜松病院 看護部²⁾, 聖隷浜松病院 緩和医療科³⁾
-
- P-288 当院での麻薬のセット処方化について**
- 酒井 宏徳, 稲角 利彦
三田市民病院